第二次稲城市教育振興基本計画 実施状況・成果

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
24	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜1 家庭の教育力の向上＞ (1)家庭教育への支援**								
25	**地域教育懇談会**	指導課	中学校ブロックごとに、学校、保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育園の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更生保護女性会関係者、PTA連合会OB、公民館・児童館関係者、学校支援コンシェルジュなど、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、全校発表会を1回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、ブロック連絡会を4回、全体発表会を1回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、ブロック連絡会を4回、全体発表会を1回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、ブロック連絡会を4回、全体発表会を1回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、ブロック連絡会を4回、全体発表会を1回実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を年間2、3回実施した。また、ブロック連絡会を4回、全校発表会を1回実施した。
25	**情報の提供**	各課	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図ります。	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報、生涯学習だより「ひろば」ホームページ、学校へのおたよりの配布などにより、家庭教育に資する情報提供を行った。
25	**子ども家庭支援センターでの相談事業**	子育て支援課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して臨床心理士、保育士、保健師などによる総合的な相談を実施します。	個々の子育て家庭の状況を踏まえて、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。関係機関との連携を大切にして、それぞれが役割分担しながら、より良い対応を心がけた。	個々の子育て家庭の状況を踏まえて、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。関係機関と連携を蜜にとり、役割分担をしたうえで、子育てを総合的に支援した。	子育てに悩みを持った家庭に対し、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。また、関係機関と連携し、役割分担をしたうえで子育てを総合的に支援した。	子育てに悩みを持った家庭に対し、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。また、関係機関と連携・役割分担をしたうえで子育て支援を行った。	子育てに悩みを持った家庭に対し、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。また、関係機関と連携・役割分担をしたうえで子育て支援を行った。	子育て中の家庭を対象に総合相談、子育てに悩みを持った家庭に対し、子どもや家庭の問題が解決できるよう相談事業を実施した。また、関係機関と連携し、役割分担をしたうえで子育てを総合的に支援した。
25	**教育相談事業**	指導課	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施します。	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数1,195回（来室相談1,167回、電話相談293回、学校他機関535回）	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数2,367回（来室相談1,401回、電話相談252回、学校他機関対応714回）	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数2,029回（来室相談1,250回、電話相談232回、学校他機関対応547回）	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数1, 516回（来室相談833回、電話相談447回、学校他機関対応236 ）	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数1, 486回（来室相談1,136回、電話相談154回、学校他機関対応196回）	教育相談室等（来室、電話、学校等機関）で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。相談機能を充実させるため、相談員の研修などの取り組みを進めた。
25	**稲城地域文庫連絡会に対する補助金交付及び支援事業**	生涯学習課	稲城地域文庫連絡会へ補助金を交付し、読書会や児童書の貸し出しなどの各地域の文庫活動を支援します。	稲城市社会教育関係団体に対する補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、地域の文庫活動を支援した。	稲城市社会教育関係団体に対する補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、地域の文庫活動を支援した。	市内の図書館施設の充実により、地域の文庫の必要性が低下してきたこと等を理由に、稲城地域文庫連絡会が解散したため、補助金の交付は行わなかった。	市内の図書館施設の充実により、地域の文庫の必要性が低下してきたこと等を理由に、稲城地域文庫連絡会が解散したため、補助金の交付は行わなかった。	市内の図書館施設の充実により、地域の文庫の必要性が低下してきたこと等を理由に、稲城地域文庫連絡会が解散したため、補助金の交付は行わなかった。	平成28年度までは、稲城市社会教育関係団体に対する補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、地域の文庫活動を支援した。平成29年度からは、稲城地域文庫連絡会が解散したため、補助金の交付は行わなかった。
25	**生涯学習宅配便講座**	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	27年度の生涯学習宅配便講座は、職員が講師として登壇する“職員講師編”44講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”19講座、NPO等講師編4講座、官公庁等講師編4講座、企業講師編1講座の計72講座をメニューとして用意し、実施件数30件、参加者数1,165人であった。	28年度の生涯学習宅配便講座は、職員が講師として登壇する“職員講師編”42講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”19講座、NPO等講師編5講座、官公庁等講師編1講座、企業講師編4講座の計71講座をメニューとして用意し、実施件数25件、参加者数502人であった。	29年度の生涯学習宅配便講座は、職員が講師として登壇する“職員講師編”43講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”15講座、NPO等講師編3講座、官公庁等講師編1講座、企業講師編5講座の計67講座をメニューとして用意し、実施件数12件、参加者数246人であった。	30年度の生涯学習宅配便講座は、職員が講師として登壇する“職員講師編”43講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”13講座、NPO等講師編3講座、官公庁等講師編3講座、企業講師編5講座の計67講座をメニューとして用意し、実施件数24件、参加者数941人であった。	31年度の生涯学習宅配便講座は、職員が講師として登壇する“職員講師編”44講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”13講座、NPO等講師編10講座、官公庁等講師編3講座、企業講師編4講座の計71講座をメニューとして用意し、実施件数24件、参加者数752人であった。	生涯学習宅配便講座は「生涯学習推進計画」に基づき、行政の仕事や市民ボランティア講師等が提供する講座を市民団体等の指定した会場に講師が出向き講座提供している。講座内容も毎年、タイトルや内容を工夫して更新している。「家庭教育向け」「子育てに関する講座」では7講座のメニューがあるが、このジャンルでの講座依頼はなかった。
25	**第二次稲城市子ども読書活動推進計画の推進**	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。家庭・地域・学校であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、「生きぬく力」を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	27年度は、第二次稲城市子ども読書活動推進計画の初年度にあたる。保育園・幼稚園・学校を通して、概要版の配布を行い、計画の周知に努めた。 ブックスタート事業、おすすめ本リストの配布、読み聞かせ行事の実施等を通して、家庭で読書に親しむ環境作りを推進した。	第二次稲城市子ども読書活動推進計画の2年目にあたる。市内全図書館に読書通帳を7月1日より導入し、3,546冊発行した。本物の通帳にそっくりな読書通帳に、読んだ本のタイトルを記帳していく仕組みで、楽しみながら読書の習慣付けを行う事ができ、児童の貸出が増加した。また、小学1年生向けに「としょかん1ねんせいパック配布」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙などを夏休み前に新1年生に配布し、本を読む環境作りを行った。	第二次稲城市子ども読書活動推進計画の3年目にあたる。市内全図書館に配置した読書通帳は1,678冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、2月より有料の付帯事業で開始した。11月3日の子ども読書イベントは、「津田橹冬氏講演会」に51人、「おはなしバスケット」児童イベントに517人、展示会に139人の参加があった。また、小学1年生向けに「としょかん1ねんせいパック配布」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙などを夏休み前に新1年生全員に配布し、本を読む環境作りを行った。	第二次稲城市子ども読書活動推進計画の4年目にあたる。市内全図書館に配置した読書通帳は1,479冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、前年度より開始した有料の販売も含めると1,775冊となった。7月7日の子ども読書イベントは、一般向け「富安陽子さんがやってくる！講演会」に75人、児童向け「富安陽子さんがやってくる！ブックトーク」に44人の参加があった。また、小学1年生向けに「としょかん1ねんせいパック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙などを夏休み前に新1年生全員に配布し、本を読む環境作りを行った。	第二次稲城市子ども読書活動推進計画の最終年度である5年目にあたる。市内全図書館に配置した読書通帳は1,423冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,710冊に至った。11月4日の子ども読書イベントは、「本の世界を大ぼうけん おはなしの宝島へGO‼」には、延べ975人の参加者があった。 また、令和2年度を初年度とする「第三次稲城市子ども読書活動推進計画」について、策定委員の選出、アンケート調査、意見公募を実施のうえ、全5回の策定委員会開催し、第三次稲城市子ども読書活動推進計画を策定した。	「ブックスタート事業」、小学1年生向けに「としょかん1ねんせいパック配布」、「読書通帳事業」等を実施し、乳児期から中学期にかけて、魅力ある施策展開を進めていくことにより、読書を自ら行う習慣作りの機会提供を進めることができた。
26	**子育て講座・親子交流事業**	子育て支援課 児童青少年課 生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	【子育て支援課】 月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供や相談事業を実施した。子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 【児童青少年課】 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 4事業 延39回実施 延参加者数1,403人 ②第二児童館 5事業 延120回実施 延参加者数2,672人 ③第三児童館 5事業 延55回実施 延参加者数1,302人 ④第四児童館 4事業 延17回実施 延参加者数1,088人 ⑤城山児童館 4事業 延46回実施 延参加者数1,324人 【生涯学習課】 平成27年度の公民館主催事業として、保育付き講座を三箇所の公民館で各2講座と赤ちゃんマッサージ教室を二箇所の公民館で各1講座実施し、延べ831名（保育児407名）が参加した。	【子育て支援課】 月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供や相談事業を実施した。子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 【児童青少年課】 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 5事業 延53回実施 延参加者数1,645人 ②第二児童館 5事業 延122回実施 延参加者数3,077人 ③第三児童館 7事業 延81回実施 延参加者数2,180人 ④第四児童館 10事業 延52回実施 延参加者数1,499人 ⑤城山児童館 4事業 延44回実施 延参加者数1,546人 【生涯学習課】 平成28年度の公民館事業として、3館で保育付講座を各2講座行い、2館で赤ちゃんマッサージ教室を実施し、延べ982名（保育児628名）が参加した。	【子育て支援課】 （出張あそびの広場事業） 月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供等を実施した。 ①本郷児童館 19日実施 延べ参加者数1,013人 ②第二児童館 19日実施 述べ参加者数747人 ③第三児童館 20日実施 述べ参加者数452人 ④第四児童館 19日実施 述べ参加者数791人 ⑤iプラザ 19日実施 延べ参加者数692人 ⑥青葉第二 11日実施 延べ参加者数126人 （子育てサポーター事業） 子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 養成講座 参加者数 7人 【児童青少年課】 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 5事業 延54回実施 延参加者数1,494人 ②第二児童館 7事業 延116回実施 延参加者数3,120人 ③第三児童館 7事業 延87回実施 延参加者数2,128人 ④第四児童館 9事業 延51回実施 延参加者数1,261人 ⑤城山児童館 5事業 延49回実施 延参加者数1,354人 【生涯学習課】 平成29年度の公民館事業として、3館で保育付講座を行い、2館で赤ちゃんマッサージ教室を実施し、延べ1,246人（子ども613人）が参加した。	【子育て支援課】 （出張あそびの広場事業） 月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供等を実施した。 ①本郷児童館 16日実施 延べ参加者数893人 ②第二児童館 18日実施 述べ参加者数558人 ③第三児童館 19日実施 述べ参加者数437人 ④第四児童館 19日実施 述べ参加者数625人 ⑤iプラザ 19日実施 延べ参加者数604人 ⑥大丸地区会館 11日実施 延べ参加者数180人 （子育てサポーター事業） 子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 養成講座 参加者数 5人 【児童青少年課】 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 6事業 延64回実施 延参加者数1,846人 ②第二児童館 7事業 延122回実施 延参加者数2,705人 ③第三児童館 11事業 延84回実施 延参加者数1,562人 ④第四児童館 8事業 延49回実施 延参加者数1,323人 ⑤城山児童館 8事業 延39回実施 延参加者数853人 【生涯学習課】 平成30年度の公民館事業として、3館で保育付講座を行い、1館で子育て応援講座、1館で赤ちゃんマッサージ教室を実施し、延べ1,100人（子ども542人）が参加した。	【子育て支援課】 （出張あそびの広場事業） 月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供等を実施した。 ①本郷児童館 18日実施 延べ参加者数722人 ②第二児童館 17日実施 述べ参加者数580人 ③第三児童館 18日実施 述べ参加者数343人 ④第四児童館 18日実施 述べ参加者数467人 ⑤iプラザ 18日実施 延べ参加者数489人 ⑥大丸地区会館 10日実施 延べ参加者数 94人 ⑦城山児童館 17日実施 延べ参加者数369人 （子育てサポーター事業） 子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 養成講座 参加者数 4人 【児童青少年課】 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 6事業 延67回実施 延参加者数1,392人 ②第二児童館 6事業 延102回実施 延参加者数2,520人 ③第三児童館 11事業 延75回実施 延参加者数1,264人 ④第四児童館 8事業 延43回実施 延参加者数990人 ⑤城山児童館 8事業 延159回実施 延参加者数2,495人 【生涯学習課】 平成31年度の公民館事業として、3館で保育付講座を行い、1館で子育て応援講座、1館で赤ちゃんマッサージ教室を実施し、延べ1,201人（子ども606人）が参加した。	月に1～2回各児童館に子ども家庭支援センターの職員が出向き、遊びの提供等を実施した。 子育てサポーターを養成し、月に一度児童館で遊びを提供した。 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施した。子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を持つことができた。 家庭教育に関する講座では、親子の関係性を密にするきっかけづくりや、家族全体でのコミュニケーション不足を解消することを目的に2館で実施した。 保育付き講座では、「親と子の教室」を中心に、保育室のある3館で、子を公民館保育者に預け、子育てに関する内容にとらわれず母親が現在関心ある課題を広く取り入れた講座を実施した。また、保育室のない2館では、赤ちゃんマッサージ教室や幼児が同室で学べる講座を実施し親子の交流を促した。 その他、中央公民館では月曜の開館日に「保育室の開放日」を設け、保育室を親子で交流が図れる場として提供した。また、幼児を持つ保護者のグループ活動の中で保護者が学べる時間を確保するため、幼児の保育の支援も行った。
27	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜2 幼児期からの教育の推進＞ (1)幼児教育の充実**								
27	**地域教育懇談会（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
28	**保育所・幼稚園と小学校との交流**	指導課	保育所・幼稚園と小学校との交流や情報交換などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。	保育所・幼稚園と小学校との園児、児童の相互交流や就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。	保育所・幼稚園と小学校との園児、児童の相互交流や就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。	保育所・幼稚園と小学校との園児、児童の相互交流や就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。	保育所・幼稚園と小学校との園児、児童の相互交流や就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。	保育所・幼稚園と小学校との園児、児童の相互交流や就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。	保育所・幼稚園と小学校との交流や情報交換などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図り、交流・連携を図ることができた。
28	**子育て講座・親子交流事業（再掲）**	子育て支援課 児童青少年課 生涯学習課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
28	**私立幼稚園協会補助金**	子育て支援課	幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、協会運営費、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助します。	市内私立幼稚園7園の幼児教育の普及、向上又は奨励のために協会が行う事業の一部に対して補助金を交付した。	市内私立幼稚園7園の幼児教育の普及、向上又は奨励のために私立幼稚園協会が行う事業の一部に対して補助金を交付した。	市内私立幼稚園7園の幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、協会運営費、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助した。	市内私立幼稚園7園の幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、協会運営費、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助した。	市内私立幼稚園7園の幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、協会運営費、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助した。	市内私立幼稚園の幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、協会運営費、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助した。
28	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜2 幼児期からの教育の推進＞ (2)幼児教育への支援**								
28	**私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金**	子育て支援課	私立幼稚園などに在籍する幼児の保護者に対して、所得に応じて保育料の一部を補助します。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、保護者の負担を軽減するため、都が定める所得基準を超えた世帯を含めて、市独自の補助金を上乗せして補助金を交付(対象者1451人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、保護者の負担を軽減するため、都が定める所得基準を超えた世帯を含めて、市独自の補助金を上乗せして補助金を交付(対象者1406人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の負担を軽減するため、都制度の額に市独自で月3600円を上乗せして補助金を交付(対象者1395人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の負担を軽減するため、都制度の額に市独自で月3600円を上乗せして補助金を交付した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の負担を軽減するため、都制度の額に市独自で入園準備金5000円／年を上乗せして補助金を交付した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の負担を軽減するため、都制度の額に市独自でを上乗せして補助金を交付した。
28	**私立幼稚園就園奨励費補助金**	子育て支援課	世帯の所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減を目的に、幼稚園の保育料を軽減するための補助を行います。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付(対象者846人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付(対象者833人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付(対象者795人)した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付した。	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付した。（幼児教育・保育の無償化により9月末をもって本補助金は廃止。）	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対し、入園料及び保育料の一部を補助するため、国が定めた一定額以下の所得の保護者に、所得に応じて補助金を交付した。幼児教育・保育の無償化により令和元年9月末をもって本補助金は廃止した。
28	**在宅幼児教育費補助金**	子育て支援課	満4歳及び満5歳の保育所又は幼稚園などに在籍していない幼児の保護者に対し補助金を交付し、経済的負担の軽減を実施します。	在宅での幼児教育に要する経済的負担を軽減するため満4歳・5歳児（11人）の保護者に対し補助金を交付した。	在宅での幼児教育に要する経済的負担を軽減するため満4歳・5歳児（12人）の保護者に対し補助金を交付した。	在宅での幼児教育に要する経済的負担を軽減するため満4歳(4人）及び満5歳（6人）の保育所又は幼稚園などに在籍していない幼児の保護者に対し経済的負担の軽減をするため補助金を交付した。	在宅での幼児教育に要する経済的負担を軽減するため満4歳及び満5歳の保育所又は幼稚園などに在籍していない幼児の保護者に対し経済的負担の軽減をするため補助金を交付した。	平成30年度末をもって本補助金は廃止した。	在宅での幼児教育に要する経済的負担を軽減するため満4歳及び満5歳の保育所又は幼稚園などに在籍していない幼児の保護者に対し経済的負担の軽減をするため平成30年度まで補助金を交付した。
29	**子ども家庭支援センターでの相談事業（再掲）**	子育て支援課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
29	**幼児期読書支援事業**	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	市内全館で読み聞かせの行事を行い、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」は369回、6581人の参加。「えほんのじかん」169回、1637人の参加。そのほか、「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も行った。	市内全館で読み聞かせの行事を行い、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を380回開催し、6,991人、「えほんのじかん」を175回開催し、2,397人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も開催した。	市内全館で読み聞かせの行事を行い、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を374回開催し、6,633人、「えほんのじかん」を172回開催し、2,105人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も開催した。	市内全館で読み聞かせの行事を行い、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を370回開催し、5,829人、「えほんのじかん」を172回開催し、2,500人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も開催した。	市内全館で読み聞かせの行事を行い、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を331回開催し、5,084人、「えほんのじかん」を161回開催し、2,272人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も開催した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、2月下旬と3月の児童向けの行事は中止とした。	市内図書館全館で読み聞かせの行事を行っている。乳幼児向けの「おひざにだっこのおはなし会」と幼児・小学生向けの「えほんのじかん」を中心に幼児期の読書を支援している。また、おすすめ本のリスト「すてきな絵本たのしい絵本」を各館で配布している。
30	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜3 地域力を高め活かす教育の推進＞ (1)仕事と生活の調和による市民の教育参加の推進**								
30	**「仕事と生活の調和」の啓発**	市民協働課 生涯学習課	講座やパンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）についての周知を図ります。	【市民協働課】 ワーク・ライフ・バランスへの関心が高まるよう、次のことに取り組んだ。 ①女性情報誌、啓発パンフレットの発行（各1,000部） ②男女平等推進セミナーの実施 ③女と男のフォーラムいなぎ 具体的には、①では、女性の活躍を後押しするようなきっかけになるよう、仕事と家庭の両立を図りながらいきいきと働いている女性を紹介した。また、キーワードとしてワーク・ライフ・バランスを取り上げ、周知を図った。 ②では、男性の家事・育児参画、ワーク・ライフ・バランス推進をテーマに講座を実施した。 ③では、講演の中で男性の育児休業取得率などを取り上げ、日本の現状や課題を紹介した。 【生涯学習課】 保育付き講座の中に仕事に復帰するなどの「女性のこれからを学ぶ」回でワークライフバランスを取り上げて27名が参加し、学んだ。	【市民協働課】 ・セミナー等開催の際は、仕事をしている人や子育て中の方も参加できるように、託児付きセミナーにしたり、曜日や時間帯に配慮し実施した。 ・男女平等推進セミナーⅡにおいて、『夫婦のパートナーシップ』をキーワードに、女性のライフ＆キャリア両立、男性の積極的な家事・育児参画を取り上げた。子育て、学校活動や地域活動等への参画が推進されるような「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」について啓発をすることができた。参加者数21名（男性7名、女性14名）。 ・男女平等に関する情報誌を発行（1,000部）する際、上記セミナーの内容を掲載し、当日参加できなかった方へも広く周知できるよう取り組んだ。 【生涯学習課】 保育付講座の中で父親参加の講座やワークバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	【市民協働課】 ○セミナーでは「女性の再就職支援」や「介護離職」を軸にし、併せてワーク・ライフ・バランスも話題に取上げることで啓発を行った。 ○セミナー等開催の際は、アンケートをもとに曜日や時間帯に配慮し、託児付きで実施した。 ○ワーク・ライフ・バランスに関する質問項目を含む「男女平等推進いなぎプラン 関係各課 取組み状況調べ」を全庁的に実施することで、啓発に取り組んだ。 【生涯学習課】 親と子の教室の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	【市民協働課】 ○セミナーでは「女性の再就職支援」を軸に開催し、出産・育児中のブランクや両立に不安のある女性に対して就職するための準備ポイントなどを紹介し、ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供に努めた。男女平等に関する情報誌において、上記セミナーの内容を掲載し、当日参加できなかった方へも広く周知できるよう取り組んだ。 ○セミナー等開催の際は、広く参加してもらえるよう曜日や時間帯に配慮し、託児付きで実施した。 【生涯学習課】 親と子の教室の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	【市民協働課】 ○セミナーでは「女性の再就職支援」を軸に開催し、自分の話し方・印象を意識することは仕事に対するポジティブな気持ちや相互尊重の言動につながり、自分らしく、活き活きと働くことにつながると発信した。 ○男女平等に関する情報誌において、地域活動を行っている人たちのインタビューを掲載しワーク・ライフ・バランスに関する情報提供に努めた。 ○セミナー等開催の際は、広く参加してもらえるよう曜日や時間帯に配慮し、託児付きで実施した。 【生涯学習課】 親と子の教室の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	パンフレットの発行、セミナー等で、ワークライフバランスをはじめとする家庭、仕事、地域教育など身近なテーマから世代を超えた全ての市民の方に啓発及び情報提供をすることができた。 保育付講座や親と子の教室などで、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
31	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜3 地域力を高め活かす教育の推進＞ （2）地域人材と連携した教育の推進**								
31	**人材バンクの整備**	市民協働課 生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクを整備します。	【市民協働課】 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が5件、登録抹消が1件あり、合計で72名（平成28年3月31日現在）の登録となった。 【生涯学習課】 平成27年度では、32部門に延べ160人の登録があり、生涯学習宅配便講座（後述）の講師として19人、いなぎICカレッジ講師としても19人を活用した。人材バンクの効率的な活用については、宅配便講座やICカレッジへの講師紹介での活用38件の他、市民グループ等からの要望により年間10件程度の紹介を行った。	【市民協働課】 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が4件、登録抹消が4件あり、合計で72名（平成29年3月31日現在）の登録となった。 【生涯学習課】 平成28年度では、32部門に延べ180人の登録があり、生涯学習宅配便講座（後述）の講師として18人、いなぎICカレッジ講師としても24人を活用した。人材バンクの効率的な活用については、宅配便講座やICカレッジへの講師紹介での活用42件の他、市民グループ等からの要望により年間10件程度の紹介を行った。	【市民協働課】 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が0件、登録抹消が0件で、合計で72名（平成30年3月31日現在）の登録となった。 【生涯学習課】 平成29年度では、32部門に延べ160人の登録があり、生涯学習宅配便講座（後述）の講師として18人、いなぎICカレッジ講師としても25人を活用した。人材バンクの効率的な活用については、宅配便講座やICカレッジへの講師紹介での活用43件の他、市民グループ等からの要望による紹介はなかった。	【市民協働課】 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が0件、登録抹消が0件で、合計で72名（平成31年3月31日現在）の登録となった。 【生涯学習課】 平成30年度では、32部門に延べ162人の登録があり、生涯学習宅配便講座（後述）の講師として18人、いなぎICカレッジ講師としても24人を活用した。人材バンクの効率的な活用については、宅配便講座やICカレッジへの講師紹介での活用42件の他、市民グループ等からの紹介依頼が1件あった。	【市民協働課】 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が3件、登録抹消が3件で、合計で72名（令和2年3月31日現在）の登録となった。 【生涯学習課】 平成31年度では、32部門に延べ134人の登録があり、生涯学習宅配便講座（後述）の講師として18人、いなぎICカレッジ講師としても26人を活用した。人材バンクの効率的な活用については、宅配便講座やICカレッジへの講師紹介での活用44件の他、市民グループ等からの要望による紹介はなかった。	広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。登録者は70名程度。 市民講師システムは「生涯学習推進計画」で、市民の学習成果を生かした市民どうしの「学びあい」を目的に、平成9年度から「生涯学習宅配便講座」、平成15年度から「いなぎICカレッジ・一般教養講座」講師として活躍している。市民講師の講座案内は、毎年、学校や地域住民にお届けしており、学校や地域団体からの講師依頼もあった。
31	**コーディネーターの育成**	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐコーディネーターの役割を担う人材の育成を支援します。	第3次生涯学習推進計画のなかでの課題として、学びたい人をつなぐ役割を、市の社会教育主事だけでなく、各公民館が「にないあい支援基地」となるべく、自主グループで活動している団体が次に学びたい人を迎える「にないあい人」の援助を行った。	第3次生涯学習推進計画のなかでの課題として、学びたい人をつなぐ役割を、市の社会教育主事だけでなく、各公民館が「にないあい支援基地」となるべく、自主グループで活動している団体が次に学びたい人を迎える「にないあい人」の援助を行った。	第3次生涯学習推進計画のなかでの課題として、学びたい人をつなぐ役割を、市の社会教育主事だけでなく、公民館担当が自主グループ活動や自主グループ設立の支援を行った。	第3次生涯学習推進計画のなかでの課題として、学びたい人をつなぐ役割を、市の社会教育主事だけでなく、公民館担当が自主グループ活動や自主グループ設立の支援を行った。	第3次生涯学習推進計画のなかでの課題として、学びたい人をつなぐ役割を、市の社会教育主事だけでなく、公民館担当が自主グループ活動や自主グループ設立の支援を行った。	市内の各地区・地域の実情に応じた公民館主催事業を実施。また、公民館担当が市民、講座受講者に対し、既存自主グループへの加入や自主グループ設立のための助言等の支援を行った。
31	**市民講師システムの整備**	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民どうしの「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、平成27年度は58講座899人が年間を通じて学習活動を行った。また多数の講座卒業生が自主グループに移行した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、平成28年度は56講座855人が年間を通じて学習活動を行った。また多数の講座卒業生が自主グループ等に移行した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、平成29年度は51講座821人が年間を通じて学習活動を行った。また多数の講座卒業生が自主グループ等に移行した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、平成30年度は54講座911人が年間を通じて学習活動を行った。また多数の講座卒業生が自主グループ等に移行した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」においては、市民講師による市民のための講座を実施しており、平成31年度は58講座907人が年間を通じて学習活動を行った。また多数の講座卒業生が自主グループ等に移行した。	市民講師システムは「生涯学習推進計画」で、市民の学習成果を生かした市民どうしの「学びあい」を目的に、平成9年度から「生涯学習宅配便講座」、平成15年度から「いなぎICカレッジ・一般教養講座」講師として活躍している。市民講師の講座案内は、毎年、学校や地域住民にお届けしており、学校や地域団体からの講師依頼もあった。
31	**地域の教材化の推進**	指導課	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用します。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進します。	稲城ふれあいの森や郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、小・中学校の音楽では、筝曲の大師範に指導をいただいた。	稲城ふれあいの森や郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、小・中学校の音楽では、筝曲の大師範に指導をいただいた。	稲城ふれあいの森や郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、音楽科の授業においては、筝曲の大師範に指導をいただいた。	稲城ふれあいの森や郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。また、音楽科の授業においては、筝曲の大師範に指導をいただいた。	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用した。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進した。	稲城ふれあいの森や郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用したり、音楽科の授業においては、筝曲の大師範に指導をいただいたことで、地域との交流・地域を知ることにつながった。
31	**地域と共にある学校づくり推進事業**	指導課	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、学校支援ボランティアの円滑な推進を図ります。	地域と共にある学校推進事業として地域ボランティアの配置、ボランティアを活用した事業実施計画の作成及び事業実施の支援等を行う学校支援コンシェルジュを6つの中学校ブロックに拡充し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化した。	地域と共にある学校推進事業として地域ボランティアの配置、ボランティアを活用した事業実施計画の作成及び事業実施の支援等を行う学校支援コンシェルジュを、6つの中学校ブロックに配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化した。	地域と共にある学校推進事業として地域ボランティアの配置、ボランティアを活用した事業実施計画の作成及び事業実施の支援等を行う学校支援コンシェルジュを、6つの中学校ブロックに配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化した。	地域と共にある学校推進事業として地域ボランティアの配置、ボランティアを活用した事業実施計画の作成及び事業実施の支援等を行う学校支援コンシェルジュを、6つの中学校ブロックに配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化した。	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、学校支援ボランティアの円滑な推進を図った。	地域ボランティアの配置、ボランティアを活用した事業実施計画の作成及び事業実施の支援等を行う学校支援コンシェルジュを、6つの中学校ブロックに配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化した。
32	**地域教育懇談会（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
32	**学校運営連絡協議会**	指導課	地域に根ざした学校運営のため協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校をめざします。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。	校長の学校経営を支援する役割を担う学校運営連絡協議会を各校に設置し、学校へ保護者や地域住民の意向を伝え、学校運営への反映に協力するとともに、地域に根ざした学校運営への支援のため、保護者や地域住民の協力を得るよう努めた。 その結果、学校の取組を理解し、様々な形で協力していただくことができた。
32	**防災学習の充実**	指導課	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図ります。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図ることができた。
32	**地域の読書環境の推進**	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子ども・保護者へ本を紹介しています。図書館職員が講師となり、新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開しています。また、地域文庫は、子どもの読書推進の「本はともだち いなぎの子」に実行委員会として参加しています。これらの活動を通じて、子どもたちにおはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	地域文庫は、それぞれの地区で読書活動を行う他、文庫連絡会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を主催。27年度は10回開催し、図書館から講師を派遣した。また、7月5日には、文庫まつりを行った。	地域文庫は、それぞれの地区で読書活動を行う他、文庫連絡会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を10回開催し110人が参加した。また、9月4日の文庫まつりには25人が参加した。10月10日の「本はともだちいなぎの子」読書イベントには183人が参加した。	地域文庫は、それぞれの地区で読書活動を行う他、文庫連絡会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を11回開催し111人が参加した。11月3日の「本はともだちいなぎの子」読書イベントには517人が参加した。	地域文庫は、それぞれの地区で読書活動を行う他、子どもの本の会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を11回開催し101人が参加した。11月3日の「本はともだちいなぎの子」読書イベントには119人が参加した。	地域文庫は、それぞれの地区で読書活動を行う他、子どもの本の会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を10回開催し108人が参加した。「本はともだちいなぎの子」読書イベントの一環として10月12日～17日には、城山体験館ギャラリーにて「みんなで支えるいなぎの読書」展を行った。また、11月4日の読書イベント「本の世界を大ぼうけん おはなしの宝島へGo!!」には延べ975人が参加した。	それぞれの地区で読書活動を行う他、文庫連絡会として、新刊絵本を読む「子どもの本の会」を年10回程度開催している。また「本はともだちいなぎの子」読書イベントを開催した。 地域文庫連絡会は、平成29年度から「子どもの本の会」と名称を変更し、文庫活動に限定せず、広く子どもの読書に関する活動を行っている。
33	**1 家庭や地域における学びの推進と連携 ＜3 地域力を高め活かす教育の推進＞ （3）青少年の健全育成**								
33	**稲城ふれあいの森事業**	児童青少年課	野外活動を普及させ、地域の青少年活動の発展と健全育成の向上を図るため、快適で安全に過ごせるよう施設の運営管理を行います。	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施した。 （1）利用者数 4,419名 （2）主な整備・補修内容 だれでもトイレ2基と井戸を新設した。駐車場土留め整備、リーダーカマド周辺整備等を実施した。	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施した。 （1）利用者数 5,283名 （2）主な整備・補修内容 だれでもトイレ・スノコ小屋の屋根補強、ファイヤー場のポール補修、第二管理小屋の補修を実施した。	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施。 （1）利用者数 5,180名 （2）主な整備・補修内容 南の泉等改修整備、旧リーダー小屋・第二管理小屋の屋根補強等を実施した。	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施。 （1）利用者数 3,298名 （2）主な整備・補修内容 テントサイト改修整備、水道増圧ポンプ修繕、漏水修繕等を実施した。 また台風による被害が発生したため樹木伐採等を実施した。（補正）	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施。 （1）利用者数 3,940名 （2）主な整備・補修内容 レッドロビン生垣整備、電気設備点検修繕等を実施した。 また台風による被害が発生したため樹木伐採等を実施した。（補正）	施設の管理運営・整備について「稲城ふれあいの森運営委員会」を中心に実施した。
33	**青少年指導者養成事業**	児童青少年課	青少年の社会活動や地域活動の参加を促進するため、青少年指導者養成事業（ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナー）を実施します。	青少年指導者養成事業を「稲城市青少年委員会」を中心に実施した。 （1）参加者数 45名（青年ワーカー17名、ジュニアワーカー28名） （2）主な事業内容 7月4日～7月5日「ふれあいの森宿泊研修」（フィールドゲーム、キャンドルファイヤー等）、8月1日～8月3日「高遠自然体験」（渓谷歩き、キャンドルファイヤー等）	青少年指導者養成事業を「稲城市青少年委員会」を中心に実施した。 （1）参加者数 67名（青年ワーカー21名、ジュニアワーカー46名） （2）主な事業内容 7月2日～7月3日「ふれあいの森宿泊研修」（フィールドゲーム、キャンプファイヤー等）、8月6日～8月8日「赤城自然体験」（登山、キャンプファイヤー等）	青少年指導者養成事業を「稲城市青少年委員会」を中心に実施した。 （1）参加者数 48名（青年ワーカー14名、ジュニアワーカー34名） （2）主な事業内容 7月8日～7月9日「ふれあいの森宿泊研修」（フィールドゲーム、キャンプファイヤー等）、8月5日～8月7日「赤城自然体験」（登山、キャンドルファイヤー等）	青少年指導者養成事業を「稲城市青少年委員会」を中心に実施した。 （1）参加者数 54名（青年ワーカー16名、ジュニアワーカー38名） （2）主な事業内容 7月7日～7月8日「ふれあいの森宿泊研修」（フィールドゲーム、キャンプファイヤー等）、8月18日～8月20日「赤城自然体験」（登山、キャンドルファイヤー等）	青少年指導者養成事業を「稲城市青少年委員会」を中心に実施した。 （1）参加者数 56名（青年ワーカー18名、ジュニアワーカー38名） （2）主な事業内容 7月13日～7月14日「ふれあいの森宿泊研修」（フィールドゲーム、キャンプファイヤー等）、8月17日～8月19日「高遠自然体験」（登山、キャンプファイヤー等）	稲城市青少年委員会を中心に、ジュニアワーカー、青年ワーカーセミナーを実施した。青年ワーカーはジュニアワーカーセミナーや地区キャンプの補助として参加することで社会参加の促進を図ることができた。また、それぞれの取り組みを通じて、地域で主体性を持った青少年として成長した。
33	**成人式事業**	生涯学習課	新成人による「成人式実行委員会」を組織し、新成人の意見を聞きながら、式典を企画・運営します。	16人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。	13人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。	13人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。	15人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。	9人の新成人で成人式実行委員会を組織し、新成人の自由な意見を活かした式典の企画・運営を行った。	新成人による実行委員会を組織し、自由な意見を活かし、主体的に活動し、興味や関心に応じた成人式を執り行うことができた。
33	**青少年育成地区委員会への補助**	児童青少年課	自然体験・農業体験・伝統文化（塞の神・お祭り）の継承などを通した青少年健全育成への支援を目的に、青少年育成地区委員会への補助を行います。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 （1）補助金 10地区計 2,577,050円 （2）キャンプ奨励費 8地区計 264,000円 （3）主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月22日に行った。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 （1）補助金 10地区計 2,579,780円 （2）キャンプ奨励費 12団体計 288,000円 （3）主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月29日に行った。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 （1）補助金 10地区計 2,589,140円 （2）キャンプ奨励費 11団体計 264,000円 （3）主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月28日に行った。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 （1）補助金 10地区計 2,578,480円 （2）キャンプ奨励費 8団体計 192,000円 （3）主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月28日に行った。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 （1）補助金 10地区計 2,579,000円 （2）キャンプ奨励費 9団体計 202,500円 （3）主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月26日に計画したが雨天中止となった。	補助金、キャンプ奨励費、市内一斉夜間パトロールなどの活動補助を実施。活動に要する経費の一部を補助することで、主体的な地域の活動を促進することができた。また青少年の社会参加の場を増やすことができた。
33	**青少年芸術文化活動補助事業**	生涯学習課	青少年を中心にした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	稲城市芸術文化団体連合会を通して、4団体に補助を行った。	活動を行った4団体（ジュニア美術日曜コース、東京稲城少年少女合唱団、母と子のアトリエ、和太鼓の会「鼓遊」）へ補助を行った。	活動を行った5団体（ジュニア美術日曜コース、東京稲城少年少女合唱団、母と子のアトリエ、和太鼓の会「鼓遊」、児童劇団「大きな夢」稲城子どもミュージカル）へ補助を行った。	活動を行った5団体（ジュニア美術日曜コース、東京稲城少年少女合唱団、母と子のアトリエ、和太鼓の会「鼓遊」、児童劇団「大きな夢」稲城子どもミュージカル）へ補助を行った。	活動を行った6団体（ジュニア美術日曜コース、東京稲城少年少女合唱団、母と子のアトリエ、和太鼓の会「鼓遊」、児童劇団「大きな夢」稲城子どもミュージカル、大丸囃子保存会）へ補助を行った。	活動を行った団体に補助を行い、地域の青少年の活動の場を確保することができた。
33	**青少年問題協議会**	児童青少年課	青少年の健全育成に関わる機関・団体の活動を効果的に進めるための協議や、青少年健全育成の課題について情報交換などを行います。	多摩中央警察や多摩児童相談所等を交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 （1）第1回 平成27年7月16日開催（出席者数20名） （2）第2回 平成28年2月 4日開催（出席者数25名） （3）議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	多摩中央警察署や多摩児童相談所等を交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 （1）第1回 平成28年7月 7日開催（出席者数23名） （2）第2回 平成29年2月 9日開催（出席者数20名） （3）議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	多摩中央警察署や多摩児童相談所等を交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 （1）第1回 平成29年7月13日開催（出席者数23名） （2）第2回 平成30年2月 8日開催（出席者数23名） （3）議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	多摩中央警察署や多摩児童相談所等を交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 （1）第1回 平成30年7月12日開催（出席者数25名） （2）第2回 平成31年2月14日開催（出席者数22名） （3）議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	多摩中央警察署や多摩児童相談所等を交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 （1）第1回 令和元年7月11日開催（出席者数26名） （2）第2回 令和 2年2月13日開催（出席者数21名） （3）議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	家庭、学校、地域等の代表者の参加により、情報共有を図り健全育成環境の充実を図ることができた。
34	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜4 確かな学力の育成＞ （1）基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上**								
34	**学習指導の改善・充実**	指導課	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導とともに、評価を充実し、基礎・基本の定着を図ります。また、授業改善推進プランの作成、実施をします。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用し、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施するとともに、評価を充実し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成、実施した。
35	**稲城市立学校教育研究会の充実**	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行をめざすとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて11回行い、うち3回は研究授業を、1回は各教科部会からの研究発表を行った。研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。
35	**特色ある学校づくりの推進**	指導課	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、ESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進します。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。
35	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜4 確かな学力の育成＞ （2）思考力・判断力・表現力などを育成し、時代の変化や社会の要請に応える教育の推進**								
35	**言語活動の充実**	指導課	学習指導要領に沿い、思考力、判断力、表現力などを育むため、全ての教科において言語活動の充実を図ります。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。
35	**読書活動の推進**	指導課 図書館課	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査（レファレンス）に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	【指導課】 学校図書館推進委員及び学校図書館活性化推進委員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 学校と中央図書館等と連携し、調べ学習等に必要な図書資料等の貸出を行った。 【図書館課】 市立図書館では団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援している。27年度は小学校134件、中学校11件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸出した。学校へのアンケート、学校図書館運営推進委員会への出席を通して、情報を収集した。	【指導課】 学校図書館推進委員及び学校図書館活性化推進委員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 【図書館課】 市立図書館では団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援している。小学校135件、中学校14件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸出した。学校へのアンケート、学校図書館運営推進委員会への出席を通して、情報を収集した。	【指導課】 学校図書館推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 【図書館課】 市立図書館では団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援している。小学校145件、中学校32件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸出した。団体貸出実績は、学級文庫に135学級（支援学級含む）に貸出を行い、利用率は73%に及んだ。	【指導課】 学校図書館推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 【図書館課】 市立図書館では団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援している。小学校159件、中学校28件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸出した。団体貸出実績は、学級文庫に139学級（支援学級含む）に貸出を行い、利用率は74%に及んだ。 また、学校図書館活性化推進員との更なる連携を図るため、各学校図書館への訪問・施設見学を実施した。	【指導課】 学校図書館推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 【図書館課】 市立図書館では団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援している。小学校137件、中学校23件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸出した。団体貸出実績は、学級文庫に150学級（支援学級含む）に貸出を行い、利用率は81%に及んだ。なお、団体貸出実績としては、主に学級文庫（支援学級含む）に貸出を行い、56,328冊と前年度比は108%と増加した。 また、地域における主要施設と読書活動における更なる連携を図るため、各保育園への訪問・施設見学を実施した。	学校図書館推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で図書資料を活用することができた。 学校と稲城市立図書館が連携し、調べ学習等に必要な図書資料等の貸出を行った。団体貸出の充実により、総合的な学習の時間の調べ学習を支援することができた。また、学校への資料の配送も継続して行うことができた。 学校図書館活性化推進員との更なる連携を図るため、各学校図書館への訪問・施設見学を実施し、交流・連携を図ることができた。
36	**ICT教育の充実**	指導課	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図ります。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	ICTの利用活用方法をはじめ、ICT関連機器の利用にともなう情報モラルを高める取り組みの充実を図るため、教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。
36	**理数教育の充実**	指導課	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ります。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ることができた。	理科支援ボランティアを活用するとともに、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図った。	理科支援ボランティアを活用するとともに、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図った。	理科支援ボランティアを活用するとともに、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図った。	理科支援ボランティアを活用するとともに、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図った。	理科支援ボランティアを活用するとともに、少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ることができた。
36	**外国語活動の推進**	指導課	外国語指導助手（ALT）、ゲストティーチャーなどを活用し、小学校からの実践的な外国語活動を推進します。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を、1日4時間以上、学校に派遣した日数の合計として、小学校においては延べ261日、中学校においては延べ262日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を、1日4時間以上、学校に派遣した日数の合計として、小学校においては延べ268日、中学校においては延べ279日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を、1日4時間以上、学校に派遣した日数の合計として、小学校においては延べ263日、中学校においては延べ293日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を、1日4時間以上、学校に派遣した日数の合計として、小学校においては延べ264日、中学校においては延べ297日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を、1日4時間以上、学校に派遣した日数の合計として、小学校においては延べ272日、中学校においては延べ277日派遣した。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手（ALT）を派遣し、外国語活動の推進をすることができた。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
37	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 豊かな人間性の涵養> (1)人権教育の推進**								
37	**人権教育の推進**	指導課	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開します。また、学校における人権教育の充実を図ります。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間5回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び「お肉の情報館」の視察等を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間7回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び「東京都人権プラザ」の視察等を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間7回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び「お肉の情報館」の視察等を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間7回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び「お肉の情報館」の視察等を行った。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間5～7回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び視察等を行い、人権教育の推進をすることができた。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を実施した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を年間5～7回実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換及び視察等を行い、人権教育の推進をすることができた。
37	**福城市いじめ防止基本方針に基づく取り組みの推進**	指導課	福城市いじめ防止基本方針に基づく取り組みを推進します。また、児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組みます。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	福城市いじめ防止基本方針に基づき、各校においていじめ防止の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修を実施するなど、福城市いじめ防止基本方針に基づく取組を推進できた。
38	**教育相談室の機能の充実**	指導課	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制を支援します。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の充実を図ることができた。
38	**不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援**	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組みます。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。	不登校児童・生徒に対して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援を行った。
39	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 豊かな人間性の涵養> (2)道徳心や社会性を身につける教育の推進**								
39	**道徳教育の推進**	指導課	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進します。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の先行実施に向けて研究を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の実施に向けて研究を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の実施に向けて研究を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の実施に向けて研究を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の実施に向けて研究を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通じ道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。また、「特別の教科　道徳」の実施に向けて研究を推進した。
39	**国際理解教育の推進**	指導課	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進します。	国際的な交流を通して国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進することができた。
39	**野沢温泉村宿泊体験**	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学びます。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶことができた。 野沢温泉村と連携し、「福城100年の森」育成事業を実施した。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶことができた。
39	**大空町歴育交流**	指導課	市内小学生の大空町への訪問、大空町児童の受け入れの交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育みます。	夏季休業期間の、市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れという交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。	11月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れという交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。	8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れという交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。	8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れという交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。	8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れという交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。	市内小学生の大空町への訪問、大空町の児童の受け入れにより交流活動を通して、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育むことができた。
40	**音楽鑑賞教室**	指導課	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てます。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	音楽鑑賞教室の実施により、市内の全小・中学生が優れた音楽に直接触れ合う機会となり、良い音楽を愛好する心情や豊かな情操を培うとともに、生活を明るく潤いのあるものにする態度や習慣を養うことができた。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てることができた。
40	**社会性を育む教育の推進**	指導課	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開します。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を計画的に展開したり、各学校において、地域行事や地域ボランティア活動への参加を促したりして、社会性を育む教育を推進することができた。
40	**地域行事への参加**	指導課	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進します。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進した。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進した。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進した。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進した。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進した。	児童・生徒による地域行事へ年間1人1回以上の参加を推進することができた。
40	**読書活動の推進(再掲)**	指導課 図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
40	**伝統・文化などに関する教育の推進**	指導課	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を野沢温泉村や大空町との交流も活用し、本市の地域固有文化及びが、推進します。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。	野沢温泉村や大空町との交流を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて授業を学習を推進することができた。
42	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 健康・安全に生活する力の育成> (1)体力向上を図る取り組みの推進**								
42	**学校における体力向上の推進**	指導課	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組みます。また、適合体育行事などを契機として体力向上を図ります。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、適合体育行事などを契機として体力向上を図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」を掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育、適合体育行事などを契機として体力向上を図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」を掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育、適合体育行事などを契機として体力向上を図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」を掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育、適合体育行事などを契機として体力向上を図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」を掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育、適合体育行事などを契機として体力向上を図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するとともに、「一校一取組」を掲げた体育活動に年間を通して取り組んだ。また、オリンピック・パラリンピック教育、適合体育行事などを契機として体力向上を図ることができた。
42	**オリンピック・パラリンピック教育の推進**	指導課	体力向上とあわせ、オリンピック・パラリンピックの大会現念や参加国の歴史や文化の学習、身近に住んでいる外国人との交流による国際理解、アスリートの交流により、生き方、考え方に触れることにより、地域のスポーツ大会へのボランティア参加など学校や児童・生徒に応じたオリンピック・パラリンピック教育を展開します。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進した。	積極的に運動やスポーツに親しみ、健康増進や体力向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、理念などを理解し、平和な社会や共生社会の実現に貢献しようとする意欲や態度を育むため、オリンピック・パラリンピック教育を推進することができた。
42	**地域の人材活用の推進**	指導課	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図ります。また、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図ります。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動などの充実に向けて、地域の指導者の活用に向けて取り組みを行うことができた。
42	**各種体力調査の活用**	指導課	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めます。	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	各種体力調査を活用し、子どもたち一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むことができるよう努めた。	各種体力調査結果を活用し、子どもたち一人ひとりに、その分析結果を還元することで、目標をもって体力向上に取り組む態度の育成を図ることができた。
43	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 健康・安全に生活する力の育成> (2)健康教育・食育の推進**								
43	**健康・安全指導の充実**	指導課	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ります。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する啓発資料の作成や活動の場の整備充実を図ることができた。保健主任会や養護教諭連絡会を通して、子どもの望ましい生活習慣や虫歯予防、流行性疾病から身を守るための情報共有を行うこともできた。
43	**小・中学校保健安全に関する事業**	学務課	学校保健安全法に基づき、就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図ります。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。	各学校において就学時健康診断及び定期健康診断を行い、学校保健の充実を図った。検診等の結果により予防措置が必要な疾病、異常について、保健管理や保健指導を行った。
43	**食育の促進**	指導課 学校給食課	全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養教諭を活用した授業実施と巡回指導に取り組みます。また、給食材料に地場野菜を積極的に取り入れ、地産地消を推進します。さらに、給食だよりを発行し、保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図ります。	【指導課】 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養教諭を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。また、給食材料に地場野菜を積極的に取り入れ、地産地消を推進した。さらに、給食だよりを発行し、保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。 【学校給食課】 平成27年度は、16品目を給食材料に地場野菜を積極的に取り入れ、地産地消を推進した。さらに、給食だよりを発行し、保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。経済観光課、東京南農協福城地区野菜部会、契約農家さんと連携し、圃場に実際に栄養士が出向き、季節ごとの農作物の生育状況を確認しながら、献立作成等に努めた。	【指導課】 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 【学校給食課】 栄養士が食育教室に講師として参加したり、給食時間に巡回指導を行うなど、学校と連携して食育の推進に取り組んだ。 地産地消の推進について、栄養士が直接生産者の圃場に出向き、生育状況を確認しながら15品目の地場野菜を給食食材に取り入れた。また、市内で収穫されたレモンをアイスに加工し、給食に提供するなど、新たな取り組みも行った。 こうした取り組みについては、「共同調理場からのおたより」を通じて児童・生徒や保護者に周知するとともに、人気のある献立のレシピをクックパッドに掲載し、給食メニューが家庭でも味わえるようにした。	【指導課】 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 【学校給食課】 栄養士が食育の授業に講師として参加したり、給食時間に巡回指導を行うなど、学校と連携して食育の推進に取り組んだ。 地産地消の推進について、栄養士が直接生産者の圃場に出向き、生育状況を確認しながら地場野菜を給食食材に取り入れた。こうした取り組みについては、「共同調理場からのおたより」等を通じて児童・生徒や保護者に周知した。また、献立レシピのクックパッドへの掲載や、新しい献立や行事食を市ホームページで紹介するなど、周知を図った。	【指導課】 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 【学校給食課】 地産地消の推進について、栄養士が直接生産者の圃場に出向き、生育状況を確認しながら地場野菜を給食食材に取り入れた。こうした取り組みについては、「共同調理場からのおたより」等を通じて児童生徒及び保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。またクックパッドへの、献立レシピの掲載や、新しい献立や行事食を市ホームページで紹介するなど、周知を図った。 福城市学校給食展を開催し、パネル展示により福城市学校給食の歴史等を紹介し、児童生徒及び保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりを行った。 月毎に、主な給食献立の紹介を市ホームページに掲載した。 また、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の出場国にちなんだ応援給食を提供した。	【指導課】 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 【学校給食課】 地産地消の推進について、栄養士が直接生産者の圃場に出向き、生育状況を確認しながら地場野菜を給食食材に取り入れた。こうした取り組みについては、「共同調理場からのおたより」等を通じて児童生徒及び保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。またクックパッドへの、献立レシピの掲載や、新しい献立や行事食を市ホームページで紹介するなど、周知を図った。 月毎に、主な給食献立の紹介を市ホームページに掲載した。 また、前年度に引き続き、「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の出場国にちなんだ応援給食を提供した。	全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むとともに、栄養士を活用した授業実施と巡回指導に取り組んだ。 地産地消の推進について、栄養士が直接生産者の圃場に出向き、生育状況を確認しながら地場野菜を給食食材に取り入れた。こうした取り組みについては、「共同調理場からのおたより」等を通じて児童生徒及び保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりの充実を図った。またクックパッドへの、献立レシピの掲載や、新しい献立や行事食を市ホームページで紹介するなど、周知を図った。平成30年度には福城市学校給食展を開催し、パネル展示により福城市学校給食の歴史等を紹介し、児童生徒及び保護者に食に関する理解を深めてもらう機会づくりを行った。 平成30・31年度には「ラグビーワールドカップ2019日本大会」の出場国にちなんだ応援給食を提供した。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
44	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜6 健康・安全に生活する力の育成＞ (3)安全教育・安全確保の推進**								
44	**食物アレルギー対応**	学校給食課	学校生活管理指導表をもとにした申請により、通常パンについては乳・卵不使用のアレルギー対応パンに、牛乳については豆乳に替えて提供します。また、情報提供として、「予定献立名」、「献立予定及び、使用食材名（一人分）等」、「調味料・加工食品等使用食材内容一覧」を希望者に配布します。	学校生活管理指導表をもとにした申請により、通常パンについては乳・卵不使用のアレルギー対応パンに、牛乳については豆乳に替えて提供した。また、情報提供として、「予定献立名」、「献立予定及び、使用食材名（一人分）等」、「調味料・加工食品等使用食材内容一覧」を学校を通して希望者に配布した。各小・中学校に児童・生徒の食物アレルギーに関する調査を実施し、現状を確認した。	現調理場の施設ではアレルギー対応給食の提供が難しいため、乳・卵不使用のアレルギー対応のパン及び豆乳の代替食を引き続き行った。 アレルギーを持つ児童・生徒が出来るだけ同じ給食を食べられるよう小麦粉の替わりに米粉を使用した調理方法や食材の工夫に取り組んだ。また、アレルギー詳細献立表を見やすくする等、保護者への情報提供についても工夫をした。	現調理場の施設ではアレルギー対応給食の提供が難しいため、引き続き乳・卵不使用パンあるび豆乳の提供。アレルギー詳細献立表を学校を通して作成・配布するなど、保護者への情報提供を行った。 また、アレルギーを持つ児童・生徒が出来るだけ同じ給食を食べられるよう小麦粉の替わりに米粉を使用するなど調理方法や食材の選定等、献立の工夫に取り組んだ。	学校生活管理指導表をもとにした申請により、通常パンについては乳・卵不使用のアレルギー対応パンに、牛乳については豆乳に替えて提供した。また、アレルギーのある児童・生徒が出来るだけ同じ給食を食べられるよう小麦粉の替わりに米粉を使用するなど調理方法や食材の選定等、献立の工夫に取り組んだ。 また、アレルギー対応の一つとして、「予定献立名」、「献立予定及び、使用食材名（一人分）等」、「調味料・加工食品等使用食材内容一覧」を学校を通して希望者に配布、情報提供した。	学校生活管理指導表をもとにした申請により、通常パンについては乳・卵不使用のアレルギー対応パンに、牛乳については豆乳に替えて提供した。また、アレルギーを持つ児童・生徒が出来るだけ同じ給食を食べられるよう小麦粉の替わりに米粉を使用するなど調理方法や食材の選定等、献立の工夫に取り組んだ。 また、アレルギー対応の一つとして、「アレルギ詳細献立表」「使用食材内容一覧」を学校を通して希望者に配布した。 8月に「稲城市学校給食における食物アレルギー対応方針」を作成した。	学校生活管理指導表をもとにした申請により、通常パンについては乳・卵不使用のアレルギー対応パンに、牛乳については豆乳に替えて提供した。また、アレルギーを持つ児童・生徒が出来るだけ同じ給食を食べられるよう小麦粉の替わりに米粉を使用するなど調理方法や食材の選定等、献立の工夫に取り組んだ。 また、アレルギー対応の一つとして、「アレルギ詳細献立表」「使用食材内容一覧」を学校を通して希望者に配布した。 各小・中学校に児童・生徒の食物アレルギーに関する調査を実施し、現状を確認した。 令和元年8月に「稲城市学校給食における食物アレルギー対応方針」を作成した。
44	**児童館**	児童青少年課	集団活動などの体験を通して、心身の健全育成・情操の涵養が図られるよう児童館事業を実施します。	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 平成27年度市内5児童館の延利用者数88,769人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 平成28年度市内5児童館の延利用者数4,97,371人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 平成29年度市内5児童館の延利用者数人94,984人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 平成30年度市内5児童館の延利用者数人91,283人	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 平成31年度市内5児童館の延利用者数人79,019人	集団活動などの体験を通して、心身の健全育成・情操の涵養が図られるよう児童館事業を実施した。
44	**学童クラブ**	児童青少年課	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	市内15学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。	市内15学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。	市内15学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。
44	**放課後子ども教室**	生涯学習課	小学校全校・全学年を対象に放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、事業の充実を図ります。	平成26年度に8小学校で試行実施していたが、平成27年度から、全12小学校・全学年を対象に本格実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：50.2% 低学年登録率：62.7% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：80.3%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：42.2% 低学年登録率：59.6% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：76.2%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：41.0% 低学年登録率：59.0% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：77.3%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：41.1% 低学年登録率：59.1% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：78.8%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率：39.6% 低学年登録率：57.1% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率：76.4%(3月末時点)	小学校全校・全学年を対象に放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、事業の充実を図った。
45	**スクールガードリーダーの配置**	指導課	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、学校施設及び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・防犯に関する助言や講演会などを行います。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全268回実施した。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全335回実施した。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全355回実施した。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全439回実施した。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を全553回実施した。	警察官OBによるスクールガードリーダーを配置し、小学校12校及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する助言等を実施することができた。
45	**防犯・犯罪被害防止教育の推進**	指導課	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めます。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。
45	**防災教育の推進**	指導課	防災について学び、マイ備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備します。また、地域と連携した共助の防災教育を実施します。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	【防災課】 第一中学校、第三中学校及び第五中学校で、地域と連携した防災訓練等を実施した。 ・第一中学校（全校生徒：親子ふれあい事業防災訓練/10月1日） ・第三中学校（三年生：地域の方からの防災講話及び炊出し訓練/3月8日） ・第五中学校（全校生徒：向陽台地域ふれあい防災訓練/11月5日） また、第一小学校、第二小学校、向陽台小学校及び南山小学校で、防災に関する授業や訓練を実施した。 ・第一小学校(5年生：宿泊体験に伴う炊出し訓練/9月15日、全校生徒：PTA主催炊出し訓練/10月15日) ・第二小学校（全校生徒：防災キャンプとして、避難所開設や炊出し訓練等/11月5日） ・向陽台小学校(5年生：社会科学習/2月10日、14日) ・南山小学校（5年生及び全校生徒：防災講話及び避難所資機材取扱い訓練等/1月21日） 【指導課】 防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。東京都防災ノート等を活用し、防災についての学習を推進した。 地域と連携した防災訓練や防災に関する授業等を実施した。 これらの取組により、防災教育を推進することができた。
45	**交通安全教育の推進**	指導課	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図ります。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図った。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身につけるための取り組みの充実を図ることができた。
45	**学校による有害情報対策**	指導課	情報教育推進委員会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進します。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進した。	インターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、各校で情報モラル教育の年間指導計画を作成するとともに、「SNS学校ルール」や「SNS東京ノート」を活用し、情報モラル教育を推進することができた。
45	**薬物乱用防止教室事業**	指導課	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施します。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募について、生活指導主任会等で教員対象の研修会を実施した。
48	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜7 未来社会の担い手を育む教育としての持続発展教育(ESD)の推進＞ (1)環境・防災・国際理解などの社会の変化に自律的に対応できる力の育成**								
48	**環境教育の推進**	指導課	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組みます。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心をもち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、総合的な学習の時間等を活用して、多摩川や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組むことができた。
48	**防災教育の推進（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
48	**ユネスコ・スクールへの登録**	指導課	市内全小・中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践します。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践することができた。（2校は第二次計画期間内に登録申請を行っている。）
48	**持続可能な社会の構築に向けた教育に関する取り組みの推進**	指導課	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行います。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDの推進をすることができた。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDの推進をすることができた。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDの推進をすることができた。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDの推進をすることができた。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDを推進することができた。	年6回のESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした教育課程の編成を行い、ESDを推進することができた。
49	**郷沢温泉村宿泊体験（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
49	**農業体験、園芸体験、写川を活用した体験**	指導課	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを理解します。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。
49	**福祉教育の推進**	指導課	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行います。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通して、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行うことができた。
49	**ボランティア活動の推進**	指導課	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組みます。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。
50	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜7 未来社会の担い手を育む教育としての持続発展教育(ESD)の推進＞ (2)社会的・職業的自立を図る教育の推進**								
50	**中学生ESD卒業プログラム**	指導課	義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学校3年生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促します。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施します。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	義務教育最後の中学校3年生が、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値（不易）の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施することができた。
50	**職場体験事業**	指導課	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めます。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内全中学校において職場体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。
50	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜7 未来社会の担い手を育む教育としての持続発展教育(ESD)の推進＞ (3)オリンピック・パラリンピック教育の推進**								
50	**オリンピック・パラリンピック教育の推進（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
52	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (1)教員の資質・能力の向上**								
52	**教員の研修・研究の充実**	指導課	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援します。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、初任者研修、管理職研修、情報モラル研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、初任者研修、管理職研修、情報モラル研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、初任者研修、管理職研修、情報モラル研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、特別支援教育研修、初任者研修、管理職研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、特別支援教育研修、初任者研修、管理職研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、特別支援教育研修、初任者研修、管理職研修など）	教員の資質向上・授業改善をめざして研修事業を充実するとともに、各校の研修・研究を支援することができた。（大学との連携による研修事業、教育相談研修、人権教育研修、特別支援教育研修、初任者研修、管理職研修など）
52	**稲城市立学校教育研究会の充実（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
52	**校内OJTの実施**	指導課	すべての教員を対象に、教員が身につけるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みの推進を図ります。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的なカである「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的なカである「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的なカである「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的なカである「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。	校内OJTを通してすべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的なカである「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取り組みを推進することができた。
52	**学校運営連絡協議会（再掲）**	指導課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
53	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (2)教員が子どもと向き合う時間の確保**								
53	**教員が子ども一人ひとりと向き合う環境づくり**	指導課	学校支援コンシェルジュなど地域人材の活用や、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図ります。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図った。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図った。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図った。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図った。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図った。	6つの中学校ブロックに学校支援コンシェルジュを配置し、地域全体で学校教育を支援する体制を強化するとともに、校務の効率化を通じて、教員が子ども一人ひとりと向き合う時間の確保を図ることができた。
53	**スクールカウンセラー等の活用**	指導課	各小・中学校にスクールカウンセラーや教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施します。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施することができた。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
54	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (3)特別支援教育の充実**								
54	**特別支援教育の充実**	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するための様々な整備・充実を図ります。また、東京都の特別支援教室(仮称)の整備の動向を踏まえながら、校内における支援体制の構築を図ります。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、東京都の特別支援教室の整備の動向を踏まえながら、校内における支援体制の構築を図った。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、東京都の特別支援教室の整備の動向を踏まえながら、校内における支援体制の構築を図った。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、平成29年度から全ての小学校に特別支援教室を設置し、校内における支援体制の構築を進めてきた。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、平成29年度から全ての小学校に、31年度からは全ての中学校に特別支援教室を設置し、校内における支援体制の構築を進めることができた。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図った。また、平成29年度から全ての小学校に、31年度からは全ての中学校に特別支援教室を設置し、校内における支援体制の構築を進めることができた。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の就学や特別支援教育上の諸課題を解決するため整備・充実を図ることができた。また、平成29年度から全ての小学校に、31年度からは全ての中学校に特別支援教室を設置し、校内における支援体制の構築を進めることができた。
54	**特別支援教育推進事業**	指導課	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図ります。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ります。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ることができた。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施、市ケース会議や研修を通して、発達障害について、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ることができた。
54	**障害児保育巡回訪問指導事業**	子育て支援課	心身に障害のある乳幼児を早期に発見し、適切な療育につなげていくため、指導員などが、障害児の通所する保育所などの巡回訪問等を行います。また、保育の実施などについての相談を受け、指導を行います。	年に2回程度専門家により保育所などへの巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に対して、保育の助言指導を行った。必要によって、療育等の専門機関へつないだ。	年に2回程度専門家により保育所などへの巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に対して、保育の助言指導を行った。必要によって、療育等の専門機関へつないだ。	年に2回程度専門家が保育所への巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。	子ども家庭支援センターの専門家が公立保育所への巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。 補足:本事業の範囲外であるが、私立保育所に対しては専門家への相談費用を補助している。	子ども家庭支援センターの専門家が公立保育所への巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。 補足:本事業の範囲外であるが、私立保育所に対しては専門家への相談費用を補助している。	年に2回程度専門家により保育所などへの巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に対して、保育の助言指導を行った。必要によって、療育等の専門機関へつないだ。 補足:本事業の範囲外であるが、私立保育所に対しては専門家への相談費用を補助している。
54	**地域活動促進事業**	児童青少年課	学校の休業となる日に、障害児の地域活動促進事業として、スポーツや文化活動を実施します。	調理実習やもちつき大会等、年3回の活動を行った。 (1)参加者数 116名 (2)実施内容 調理実習(9月26日)、もちつき大会(1月23日) 太鼓練習・演奏(3月5日)	ゲーム体験や音楽鑑賞等、年3回の活動を行った。 (1)参加者数 163名 (2)実施内容 友達夏まつり(9月10日)、友遊新年会(1月28日)、友遊おたのしみ会(3月11日)	畑・調理活動等、年2回の活動を行った。 (1)参加者数 81名 (2)実施内容 畑活動(7月8日)、畑・調理活動(12月23日)	畑・音楽演奏会等、年2回の活動を行った。 (1)参加者数 98名 (2)実施内容 畑活動(7月14日)、音楽演奏会(1月19日)	交流会・畑等、年2回の活動を行った。 (1)参加者数 91名 (2)実施内容 交流会(6月29日)、畑活動(12月23日)	農業体験や太鼓活動等年2、3回の活動を行った。他の施設の子ども達と交流することで刺激となり、心身に障害のある児童・生徒の地域活動を推進することができた。
56	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (4)学校経営・学校評価の充実**								
56	**学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善**	指導課	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努めます。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めることができた。
56	**学校運営連絡協議会(再掲)**	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
56	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (5)学校図書館の充実**								
56	**学校図書館整備の促進**	指導課 教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通して、読書活動の推進を図ります。	【指導課】 学校図書館活性化推進員を小・中学校15校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 【教育総務課】 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。	【指導課】 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 【教育総務課】 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。	【指導課】 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 【教育総務課】 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。	【指導課】 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 【教育総務課】 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。	【指導課】 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 【教育総務課】 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。	学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 学校配当予算により、学校図書館の蔵書数を一定の基準に保つことにより、読書に親しめる環境を整えることが出来た。
57	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜8 教育環境の整備＞ (6)就学困難な子どもへの援助の推進**								
57	**就学相談**	指導課	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、毎年6月1日から就学相談の受付を行っています。児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、申込人数に応じて6月～3月まで1回程度、専門医の面談及び支援会議を行っています。	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談40件、転学相談11件、入級相談03件、相談のみ19件、就学支援委員会9回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談59件、転学相談11件、入級・入室相談43件、相談のみ14件　就学支援委員会9回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談78件、転学相談8件、入級・入室相談33件、相談のみ34件　就学支援委員会9回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談104件、転学相談6件、入級・入室相談68件、相談のみ54件　就学支援委員会11回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談91件、転学相談15件、入級・入室相談101件、相談のみ58件　就学支援委員会11回開催	教育上特別の支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行い、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、申込人数に応じて6月～3月の月1回程度、専門医の面談及び支援会議を行った。
57	**就学援助**	学務課	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学児童・生徒学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担を軽減します。	小学生719人、中学生421人(平成28年3月末現在)の就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。	小学生620人、中学生366人(平成29年3月末現在)の就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。	小学生581人、中学生348人(平成30年3月末現在)の就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。	小学生538人、中学生324人(平成31年3月末現在)の就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。	小学生528人、中学生311人(令和2年3月末現在)の就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。	6月に認定事務を行い、認定者には年5回に分けて学用品・通学用品費を支給。校外活動費は年度終了後、移動教室費や修学旅行費等は実施後に支給。 年度途中においても、転入者や、収入状況の変化による申請の受付認定。
57	**不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援(再掲)**	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
57	**外国人児童・生徒などの教育及び帰国児童・生徒の支援の推進**	指導課	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進します。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。 関係機関を活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進することができた。
58	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜9 学校施設・設備の充実＞ (1)学校施設などの整備の推進**								
58	**学校施設の整備**	防災課 教育総務課	老朽化した校舎については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保します。 防災井戸の設置、非構造部材の落下対策など、防災拠点としての学校の機能強化を行います。大規模光発電など環境面に配慮した学校施設などの整備を推進します。	【防災課】 災害時生活用水井戸を未整備であった6校(一小、二小、城山小、四中、五中、六中)へ整備し、すべての小中学校等への災害時生活用水井戸の整備が完了した。 また、同6校の体育館照明器具の落下防止等工事及びニバスケットゴール及び音楽室天井等の状態調査を実施した。第六中学校においては、加えて武道場の天井撤去及び照明器具落下防止等工事も実施した。 【教育総務課】 ・第一小学校旧校舎建替等工事 ・第二小学校校舎大規模改修 ・第一中学校大規模改修等工事 ・第三中学校校舎大規模改修等工事基本設計及び実施設計等	【教育総務課】 ・第二小学校校舎大規模改修等工事 ・第一小学校プール系統下水道接続工事 ・長峰小学校水道直結工事 ・芝宮台小学校水道直結工事 ・第四小学校空調設備設置工事 ・第一小学校大規模改修等工事 ・第五中学校天井改修工事 ・第六中学校水道直結工事 ・第五中学校プール系統水道管改修工事 第二小学校大規模改修等工事、第一中学校大規模改修等工事においては太陽光発電装置を設置した。	【防災課】 災害時生活用水井戸は市内小中学校に整備完了しており、維持管理を実施した。また、災害発生時の情報収集手段の一つとして、市内中学校の体育館に「いなばFREE Wi-Fi」を整備した。 【教育総務課】 ・第一小学校外構整備工事 ・第四小学校屋上防水及び外壁改修工事 ・長峰小学校空調設備改修工事 ・第二中学校空調設備工事 ・第三中学校校舎大規模改修等工事 ・第三中学校空調設備設置工事 ・第四中学校空調設備設置工事 ・第五中学校空調設備設置工事 ・第六中学校空調設備設置工事	【防災課】 「稲城市災害対策用井戸に関する要綱」に基づき水質検査を実施し、維持管理に努めた。また、災害発生時の情報収集手段の一つとして、市内小学校の体育館に「いなばFREE Wi-Fi」を整備した。 【教育総務課】 ・全小学校理科室空調設備設置工事 ・第一小学校外構整備工事 ・市有建築物ブロック塀改修等工事(稲城第一小学校、稲城第二小学校 稲城第一小学校、稲城第六小学校、稲城第七小学校、第一中学校及び・第二中学校) ・第二中学校下水道接続工事 ・第二中学校コンピュータ室空調設備改修工事 ・第三中学校大規模改修等工事 ・第三中学校外構整備工事 ・第四中学校空調設備設置工事 ・第五中学校コンピュータ室等空調設備改修工事	【防災課】 「稲城市災害対策用井戸に関する要綱」に基づき水質検査を実施し、維持管理に努めた。また、災害発生時の情報収集手段の一つとして、市内小学校の体育館に「いなばFREE Wi-Fi」を整備した。市内中学校への整備が完了した。 【教育総務課】 ・全小学校体育館空調設備設置工事 ・平尾小学校体育館屋上防水改修工事 ・第二中学校空調設備設置工事 ・第四中学校体育館屋上防水改修工事	小中学校全校に災害時生活用水井戸を設置した。また、市内小学校の体育館に「いなばFREE Wi-Fi」を設置し、防災施設としての機能強化を図った。 第四次長期総合計画に基づいた大規模改修工事等実施の際には、太陽光発電など環境へ配慮した学校施設の整備に努めた。また、非構造部材については、高天井の照明器具などの落下防止対策を完了した。 夏場の暑さ対策として、特別教室への空調設備設置を進めた。
58	**学校ICT環境の整備**	教育総務課 指導課	質の高い教育環境を提供できるよう、多様な教育活動に対応したICT機器などの学習機器の整備を推進します。	【指導課】 質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	【教育総務課】 校務用パソコンの環境整備を実施した。28年度はOSをウインドウズ7にアップグレードした。 【指導課】 質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	【教育総務課】 校務用パソコンの環境整備を実施した。 【指導課】 質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	【教育総務課】 校務用パソコンの環境整備を実施した。30年度はOffice2007 Standardのサポート期間終了に伴い、マイクロソフトOffice2016 Standardにアップグレードした。 【指導課】 質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	【教育総務課】 校務用パソコンの環境整備を実施した。 ・セキュリティソフトを更新した。 ・windows7がサポート終了するため該当の備品パソコンを廃棄し、windows10パソコンをリースで各校に導入した。 ・windows server 2008がサポート終了するため、該当の備品サーバを廃棄し、windows server 2016のサーバをリースで各校に導入した。 ・各校の特別支援教室と図書室に専用のパソコンを配置した。 【指導課】 質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備した。	質の高い教育環境を提供するため、多様な教育活動に対応した教育用コンピュータ及びインターネット接続環境を整備するとともに、情報管理を安全に行えるよう、校務用コンピュータ、校務用サーバ、office、セキュリティソフトの更新などを行い、ICT環境を整備した。
59	**2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 ＜9 学校施設・設備の充実＞ (2)学校給食共同調理場の施設の充実**								
59	**学校給食共同調理場整備事業**	学校給食課	衛生管理面に留意しつつ施設や設備の維持・管理にともなう修繕を随時行います。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するために、円滑な実施運営に向けて施設や備品の修繕を行った。 ・第二調理場備品のラウンドベア電装盤交換修繕は、2台を修繕対応した。第一・第二調理場共に製造メーカーの使用部品が生産中止となり、既存部品の修繕可能期間が終了するものが多々あるため、早期修繕対応を実施した。 ・第一・第二調理場にも施設の修繕は、漏水や排水処理施設関連等緊急を要するものを実施した。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するため、円滑な実施運営に向けて施設や備品の修繕を行った。 主な修繕内容として、第一調理場は、ラウンドベアの電装盤交換修他、ボイラー室貯湯槽修繕等、第二調理場は、ラウンドベア電装盤交換修繕他、排水処理施設汲取槽エアー配管交換修繕等を行った。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するため、円滑な実施運営に向けて調理機器等の点検に基づいた、施設や備品の修繕を行った。 主な修繕内容として、第一調理場は、ラウンドベアの消耗部品等交換修繕や調理用備品、排水処理施設修繕等、第二調理場は、食缶類洗浄機やコンテナー洗浄機の修繕、調理場検収室及び配送車出入口底雨漏り修繕等を行った。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するため、円滑な実施運営に向けて施設や備品の修繕等を行った。 主な修繕内容として、第一調理場は、ラウンドベアの消耗部品等交換修繕や食缶類洗浄機、調理用備品等、第二調理場は、蒸気回転釜やフードカッター等の修繕を行った。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するため、円滑な実施運営に向けて施設や備品の修繕等を行った。 主な修繕内容として、第一調理場は、食器洗浄機の消耗部品等交換修繕や蒸気回転釜等調理用備品、第二調理場は、真空冷却機やボイラー室関係の修繕を行った。	児童・生徒に安全で安心な給食を提供するため、円滑な実施運営に向けて施設や備品の修繕等を行った。 主な修繕内容として、第一調理場は、経年劣化や長年の使用に伴う消耗部品の換耗による蒸気回転釜や食器洗浄機等の部品等交換などの備品修繕、施設関係では経年劣化に伴う配管等の交換修繕等を行った。
60	**3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 ＜10 生涯学習の推進＞ (1)地域における多様な活動への参加・交流の推進**								
60	**子ども100ポイントラリー**	生涯学習課	子どもが自ら目標をもって楽しく生涯学習活動に参加し、達成感を味わうことができるように「子ども100ポイントラリー」を実施します。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、4月に学校ほか、児童館等公共施設に配布。また4月と夏休み前に、小学生宛ての事業参加案内のお便りを作成し、全校配布。平成27年度は、子ども博士が11人誕生。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、4月に学校ほか、児童館等公共施設に配布。また4月と夏休み前に、小学生宛ての事業参加案内のお便りを作成し、全校配布。平成28年度は、子ども博士が6人誕生。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、4月に学校ほか、児童館等公共施設に配布。また4月と夏休み前に、小学生宛ての事業参加案内のお便りを作成し、全校配布。平成29 年度は、子ども博士が5人誕生。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、4月に学校ほか、児童館等公共施設に配布。また4月と夏休み前に、小学生宛ての事業参加案内のお便りを作成し、全校配布。平成30 年度は、子ども博士が2人誕生。	事業PR冊子を例年通り1000部作成、4月に学校ほか、児童館等公共施設に配布。また4月と夏休み前に、小学生宛ての事業参加案内のお便りを作成し、全校配布。平成31 年度は、子ども博士が6人誕生。	毎年、夏休み前にも事業参加を促すお便りを学校配布するほか、子ども博士(100ポイント達成)が誕生するたびに、「ひろば」で紹介し、博士になった子どもを称えるとともに、より多くの親子の目標になるよう努めている。この事業を通じて、子どもたちの学習・交流の機会は充実している。
60	**市民調査システムの整備(再掲)**	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
61	**市民文化祭・芸術祭**	生涯学習課	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示などを通じて、市民の芸術・文化による交流を図ります。	芸術祭・稲城市民文化祭【展示部門】:10月23日(金)～25日(日) 稲城市民文化祭【ステージ部門】:11月21日(土)～23日(月) 催し物:市民囲碁大会(11月21日(土))、市民俳句大会(11月23日(月))、菊花展(11月23日(月)～12日(末))　総来場者数 7,811人	市民文化祭展示部門・芸術祭(10/21～23)、市民文化祭ステージ部門(11/5～6)、市民文化祭催し物(11/3, 5)を通じ、市民の芸術・文化による交流を図った。	市民文化祭展示部門・芸術祭(10/20～22)、市民文化祭ステージ部門(11/3～5)、市民文化祭催し物(10/21、11/3, 4)を通じ、市民の芸術・文化による交流を図った。	市民文化祭展示部門・芸術祭(10/19～21)、市民文化祭ステージ部門(11/23～25)、市民文化祭催し物(10/20、11/3, 4)を通じ、市民の芸術・文化による交流を図った。	市民文化祭展示部門・芸術祭(10/25～27)、市民文化祭ステージ部門(11/2～3)、市民文化祭催し物(11/2)を通じ、市民の芸術・文化による交流を図った。	市民文化祭展示部門・芸術祭、市民文化祭ステージ部門、市民文化祭催し物を通じ、市民の芸術・文化による交流を図ることができた。
61	**各公民館まつり**	生涯学習課	公民館で活動する団体が日頃の学習成果を発表し、地域における交流の機会を支援します。	中央公民館交流まつり:9月26日(土)～27日(日)参加者2,266人 第二文化センター市民まつり:3月12日(土)～13日(日)参加者2,682人 平尾まつり(第三文化センター会場):11月7日(土)～8日(日)参加者1,792人 第四文化センターのつどい:2月27日(土)～28日(日)参加者2,598人 城山文化センターまつり:11月14日(土)～15日(日)参加者1,846人	第二文化センター市民まつり:3月11日(土)～12日(日)参加者2,747人 平尾まつり(第三文化センターまつり会場):11月12日(土)～13日(日)参加者2,284人 第四文化センターのつどい:2月25日(土)～26日(日)参加者2,637人 城山文化センターまつり:11月19日(土)～20日(日)参加者2,033人 中央公民館交流まつりはホール改修工事のため実施せず。	中央公民館交流まつり4月22日(土)～23日(日)参加者1,925人、第二文化センター市民まつり:3月10日(土)～11日(日)参加者2,792人、平尾まつり(第三文化センターまつり会場):11月11日(土)～12日(日)参加者2,259人、第四文化センターのつどい2月24日(土)～25日(日)参加者3,090人、城山文化センターまつり:11月18日(土)～19日(日)参加者2,852人	中央公民館交流まつり9月15日(土)～16日(日)参加者1,313人、第二文化センター市民まつり3月9日(土)～10日(日)参加者3,164人、平尾まつり(第三文化センターまつり会場):11月10日(土)～11日(日)参加者2,856人、第四文化センターのつどい2月23日(土)～24日(日)参加者2,042人、城山文化センターまつり:11月17日(土)～18日(日)参加者3,740人	中央公民館交流まつり9月14日(土)～15日(日)参加者2,265人、第二文化センター市民まつり3月7日(土)～8日(日)新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止。平尾まつり(第三文化センターまつり会場):11月9日(土)～10日(日)参加者2,879人、第四文化センターのつどい2月15日(土)～16日(日)参加者2,390人、城山文化センターまつり:11月16日(土)～17日(日)参加者4,154人	・公民館まつりは、公民館登録団体の活動内容の発表や催し物を行うことで、日頃から公民館を利用している方々の交流だけでなく近隣の方々にもご来館いただき、多様な学習機会や発表の場、世代間交流が図れる場となった。また、誰もが参加しやすい環境を整えるため、入口付近に露店を設けるなど一般の方々にも入りやすい環境を設け実施した。 なお、公民館まつりは、公民館を利用している市民で実行委員会を組織し、自主的・主体的に活動していただいている。
61	**生涯学習だより「ひろば」発行**	生涯学習課	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知します。	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを掲載し、広く市民に周知を行った。	年12回発行し、市民へ教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを周知した。	年12回発行し、市民へ教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを周知した。	年12回発行し、市民へ教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを周知した。	年12回発行し、市民へ教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを周知した。	月1回発行し、市民へ教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを掲載することで、地域の多様な学習機会や交流機会、イベント等の周知の充実を図ることができた
61	**地域活動促進事業(再掲)**	児童青少年課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
61	**3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 ＜10 生涯学習の推進＞ (2)公民館・いなぎICカレッジなどが行う講座への参加の推進**								
61	**いなぎICカレッジの充実**	生涯学習課	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」については、市民ボランティア理事による企画運営を、市が会場の確保とPRなどで支援します。	平成27年度についても、いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援するとともに、ボランティアである理事の情熱・志気を低下させないよう努めた。一般教養講座は58講座899名、プロフェッサー講座は12講座599名の参加があった。	平成28年度についても、いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援するとともに、ボランティアである理事の情熱・志気を低下させないよう努めた。一般教養講座は56講座855名、プロフェッサー講座は12講座540名の参加があった。	平成29年度についても、いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援するとともに、ボランティアである理事の情熱・志気を低下させないよう努めた。一般教養講座は51講座821名、プロフェッサー講座は14講座632名の参加があった。	平成30年度についても、いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援するとともに、ボランティアである理事の情熱・志気を低下させないよう努めた。一般教養講座は54講座911名、プロフェッサー講座は13講座673名の参加があった。	平成31年度についても、いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援するとともに、ボランティアである理事の情熱・志気を低下させないよう努めた。一般教養講座は58講座907名、プロフェッサー講座は12講座586名の参加があった。	いなぎICカレッジ理事会の理事と教育委員会事務局の「にないあい」関係を堅持できるよう、年間を通して安定したカレッジ運営を支援した。
61	**生涯学習宅配便講座**	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
61	**公民館主催事業**	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	地域の住民が抱える生活課題や地域課題を見据えて効果的な学習機会を提供し、市内5公民館で28講座、延べ参加者数2,112人であった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で24講座、延べ2,955人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で28講座、延べ7,986人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で22講座、延べ2,584人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で17講座、延べ2,097人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行った。また、多種多様な主催講座を実施し、自主活動グループ設立の支援を行うことで「地域の活動拠点」となっている。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
62	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜10　生涯学習の推進＞　(3)自発的・主体的な学習活動の推進**								
62	**市民企画提案講座**	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	市民の企画提案により消費・教育・安全などの分野から5講座を開催し、延べ516人、保育児111人が参加した。	市民の企画提案により環境安全・高齢化・少子化等の分野から5講座を開催し、延べ347人が参加した。	市民の企画提案により環境・高齢化・国際化・安全の分野から4講座を開催し、延べ223人が参加した。	市民の企画提案により教育・高齢化・安全の分野から5講座を開催し、延べ284人が参加した。	市民の企画提案により少子化・福祉・高齢化・教育・情報化の分野から5講座を開催し、延べ443人が参加した。	市民の企画提案により教育、高齢化、安全、福祉などの分野から講座を開催した。市民が企画提案を行う講座であり、募集そのものが、企画者にとっては学習の知機になっている。市民のニーズを的確に反映していることから、本講座の役割は大きい。
62	**子ども100ポイントラリー（再掲）**	生涯学習課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
62	**社会教育関係団体補助金**	生涯学習課	市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付します。	社会教育関係団体4団体11事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体4団体11事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体3団体9事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体3団体9事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体2団体8事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体の事業に補助金を交付することで、市民に学習活動の機会を提供することができた。
63	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜10　生涯学習の推進＞　(4)文化財保護の推進**								
63	**文化財保護思想の普及**	生涯学習課	文化財の講座、見学会、展示会などを通して、郷土の歴史や文化財にふれる機会を提供し、文化財保護思想の普及を図ります。	文化財講座、郷土資料室講座、郷土資料室企画展示などを実施し、文化財保護思想の普及を図った。文化財講座、郷土資料室講座の延参加者数は199名。	文化財講座、郷土資料室講座、郷土資料室企画展示などを実施し、文化財保護思想の普及を図った。文化財講座、郷土資料室講座の延参加者数は232名。	文化財講座を4回（7月9日、16日、23日、29日開催、参加者延べ151人）、郷土資料室講座を2回（2月24日、3月24日開催、参加者延べ43人）実施した。	文化財講座を4回(6月30日、7月8日、7月15日、7月22日開催、参加者延べ137人)、郷土資料室講座を2回(11月24日、12月2日開催、参加者延べ68人)実施した。	文化財講座を4回(6月22日、6月30日、7月6日、7月13日、参加者延べ117名)、郷土資料室講座を1回(2月9日、参加者延べ28人)実施した。	文化財講座、郷土資料室講座、郷土資料室企画展示などを実施し、文化財保護思想の普及を図った。周知については、生涯学習だよりひろば」への関係記事掲載や、ポスター掲示、講座参加者への案内状送付、小中学校へのちらし配布など実施した。
63	**文化財資料の調査と収集・保管・公開**	生涯学習課	歴史資料、民俗資料など各分野の文化財調査を実施し、稲城の歴史と文化財の把握に努めます。また調査により明らかになった文化財資料を収集し、分類・整理・保管・公開・活用を図ります。	近代史料調査、民具資料調査を実施した。また、新たに近代史料と民具資料の収集し、整理・保管した。資料をまとめ、冊子を作成した。	近代史料調査、民具資料調査を実施した。また、新たに近代史料と民具資料の収集し、整理・保管した。資料をまとめ、調査報告書を作成した。	近代史料調査、民具資料調査を実施した。近代史料調査は文化財収蔵庫保管の近代文書史料について、分類・整理作業、調査目録作成作業を実施し、史料の合本を作成した。民具資料調査は文化財収蔵庫保管の民具資料の整理、調査カード作成作業を実施した。	民具資料調査、近代史料調査を実施した。 民具資料調査については、文化財収蔵庫保管の民具資料(農具、教育関係資料などの整理、調査カード作成作業を実施し、「稲城市の民具第5集」を発行した。 近代史料調査については、文化財収蔵庫保管の近現代文書史料、書籍類について、分類・整理作業、調査目録作成作業を実施した。	古文書調査、川船建造用具資料の再整理を実施した。 古文書調査については、収集した古文書資料の分類・整理作業を毎月2～4回実施した。 川船建造用具資料の再整理については、来作成の調査カードの作成、調査カードの整理を行い、市指定文化財であった川船建造用具を東京都指定有形民俗文化財に指定した。	近代史料調査や民具資料調査を実施し、報告書にまとめ発行を行った。現在まで行う実施している調査報告書の発行によって、文化財にふれる機会が増え、文化財の保護と普及の推進に繋がったと考える。また、市民から寄贈していただいた民具をはじめとする移々な資料は適切に管理し、郷土資料室で公開も行った。
63	**郷土資料室の整備・充実**	生涯学習課	稲城の歴史や文化財を市民に公開する施設として、郷土資料室の整備・充実に努めます。また模型資料の作成や展示替えなどにより、展示資料の充実を進め、見学者の増加を図ります。	企画展示、展示替えなどにより、郷土資料室の充実を図った。企画展示は「稲城の昆虫展」を実施した。	企画展示、展示替えなどにより、郷土資料室の充実を図っている。企画展示は、「稲城の昆虫展」、「写真で見る稲城の移り変わり」を展示した。	郷土資料室の常設展示を年間を通じ実施し、企画展示を4回（吉写真展示6月、10月～11月、昆虫展8月、指定文化財展示1月～2月）、展示替えを5回(歴史展示室2回、民俗展示室1回、標本展示室2回)実施した。	郷土資料室の常設展示を年間を通じ実施し、企画展示を4回(吉写真展示7月～8月、2月～3月、昆虫展8月、指定文化財展示11月～12月)、昆虫展示室の展示替えを実施した。	郷土資料室の常設展示を年間を通じ実施し、企画展示を3回(昆虫展8月、指定文化財展示11月～12月、古写真展示3月)、昆虫展示室の展示替えを実施した。	郷土資料室の常設展示を実施し、そのほかに企画展示を実施した。また随時、展示替えを実施し展示資料の充実をはかった。
63	**郷土芸能の保存・伝承**	生涯学習課	稲城の各地域で伝えられてきた郷土芸能の保存・伝承を図ります。また隔年で実施している郷土芸能まつりを継続し、郷土芸能保存会の活動を支援します。	第10回稲城市ふるさと郷土芸能まつりを実施し、郷土芸能の保存・伝承を図った。	多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加し、郷土芸能の保存・伝承につとめた。	第11回稲城市ふるさと郷土芸能まつりを3月11日に開催した。市内の郷土芸能9団体が中央文化センターで公演し、350人の見学者があった。ほかに12月3日開催の多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加した。	第19回多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加し、郷土芸能の保存・伝承につとめた。	第20回多摩川流域郷土芸能フェスティバルに大丸曙子の公演で参加し、郷土芸能の保存・伝承につとめた。 第12回稲城市郷土芸能まつりの実施の計画・準備を行った。	・郷土芸能まつりを隔年で実施した。郷土芸能の伝承は、郷土の歴史や文化財にふれる機会を提供し、文化財の保護・普及を図ることにつながる。郷土芸能まつり、郷土芸能フェスティバルともに、文化財の保護・普及につながる行事である。
64	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜10　生涯学習の推進＞　(5)文化・芸術活動の推進**								
64	**市民文化祭・芸術祭（再掲）**	生涯学習課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
64	**各種コンサート**	生涯学習課	ロビーコンサート、サロンコンサートなど、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場の提供を図ります。	中央公民館ロビーコンサート9回、来館者487人。 サロンコンサート、来場者数111人。	城山文化センターでアルゼンチンタンゴコンサート「魅惑のタンゴをあなたに」を開催した。	城山文化センターのロビーや視聴覚室を利用し、4回の催しを行い延べ346人の参加があった。	城山公民館5回実施　延べ来館者425人	城山公民館3回実施　延べ来館者214人	城山文化センターのロビーや視聴覚室を利用した催しを行い、市民に文化・芸術活動に親しめる機会を提供した。 施設利用者が気軽に観覧できるロビーや定員100人程度の会場である視聴覚室を利用し、自主グループの日ごろの練習の成果を発表する場の充実につながった。
64	**大空町芸術文化交流**	生涯学習課	それぞれの市・町で行う文化祭に相互に参加し、姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ります。	大空町へ稲城市芸術文化団体連合会と稲城市華道協会が来訪し、大空町芸能祭での出展と大空町内の施設見学を行った。	大空町から5名の訪問があり、市民文化祭ステージ部門に出演した。	稲城市芸術文化団体連合会といなぎ子どもミュージカルが大空町を訪問し、町民文化展・芸能祭への出演と市内見学を行った。	大空町から5名の訪問があり、市内公共施設や第50回稲城市民文化祭展示部門・第44回稲城市芸術祭を視察した。	稲城市芸術文化団体連合会が大空町を訪問し、交流会や意見交換会を開催した。	それぞれの市・町で行う文化祭に相互に参加し、意見交換や交流を行った。
64	**青少年芸術文化活動補助事業（再掲）**	生涯学習課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
65	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜10　生涯学習の推進＞　(6)図書館の充実**								
65	**講演会事業**	図書館課	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	映画監督を講師として招き、映画会と講演をコラボレーションして「疎開した40万冊の図書」講演会を開催した。	中央図書館が開館して10周年にあたり、「地球にすむ生き物たち―ポケットチップスからチンアナゴまで―」と題した記念講演会を開催し、37人が参加者した。	中央図書館の一般講演会事業については、平昌オリンピック・パラリンピック閉幕直後のタイミングで、活躍で話題を呼んだ「カーリングの楽しさ」をテーマに世界カーリング連盟理事を呼び、3月24日開催し27人が参加者した。 7月16日にYAイベントとして英語多読をテーマに開催し、その後多読サークルを立ち上げ毎月サークル活動を開催している。	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	読書への関心を高められるよう、市民の知的好奇心を満たすような講演会を実施した。平成30年度は、子ども読書推進計画のイベントとして作家富安陽子氏を招き「妖怪とのつきあい方教えます！」をテーマに講演会及びブックトーク・クイズを実施した。
65	**資料展示**	図書館課	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めます。	四季折々の館内展示に加え、市内6館を回る巡回展示会を実施した。テーマは「幕末・維新の志士たち」。326冊を展示し、のべ512冊の貸出があった。	四季折々の館内展示に加え、市内6館を回る巡回展示会として、テーマを「私がこの道を選んだ理由」と称し、359点の資料を展示し、延べ1,079点の資料の貸出があった。	四季折々の館内展示に加え、市内6館を回る巡回展示会として、テーマを「大人も楽しめる児童書ワールド」と称し、563点の資料を展示し、延べ1,364点の資料の貸出があった。	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めた。「東京2020オリンピック・パラリンピック」等に関する資料を集め、巡回展示会を実施した。	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めた。巡回展示会では、小木新造博士より寄贈された江戸・東京等に関する資料を展示した。	四季折々の館内展示に加え、市内6館を回る巡回展示会として、毎年テーマを決めて、資料を展示・貸出をした。
65	**図書館ボランティアの活動支援**	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	読み聞かせボランティアへの支援として科学絵本に関する研修、制作ボランティアへの支援として孝子長玉部についての研修を行った。	読み聞かせボランティア、および、制作ボランティアへの支援としての研修を各種開催した。図書館児童サービスボランティア連絡会を開催することにより、活動支援を行った。	読み聞かせボランティア、および、制作ボランティアへの支援としての研修を各種開催した。図書館児童サービスボランティア連絡会を開催することにより、活動支援を行った。	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行った。稲城の昔話の紙芝居づくりについて研修を実施することができた。また、読み聞かせボランティアの研修として「野外での観察と絵本」の講座を開催した。	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行った。稲城の昔話の紙芝居づくりについて研修を実施することができた。	読み聞かせボランティア及び制作ボランティアへの支援としての研修を各種開催した。図書館児童サービスボランティア連絡会を開催することにより、活動支援を行った。平成30年度は、稲城の昔話の紙芝居づくりについて研修を実施した。
65	**第二次稲城市子ども読書活動推進計画の推進（再掲）**	図書館課	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）	（再掲のため省略）
65	**資料の充実整備**	図書館課	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。また、電子資料については、特に図書館における電子書籍、CDの配信に関するサービスについて研究を進めます。	市民ニーズの把握につとめ、資料の充実整備を図った。27年度は、図書を18,356冊受入した。	市民ニーズの把握につとめ、資料の充実整備を図った。28年度は、図書を19,901冊、視聴覚資料1,160点受入した。	市民ニーズの把握につとめ、資料の充実整備を図った。29年度は、図書を18,111冊、視聴覚資料797点受入した。	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。また、電子資料については、特に図書館における電子書籍、CDの配信に関するサービスについて研究を進めている。	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。資料選定会議において新聞書評の検討を行うほか、英語多読資料の収集に力を入れている。	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。資料選定会議において新聞書評の検討を行うほか、英語多読資料の収集に力を入れている。
67	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜11　スポーツ・レクリエーション活動の振興＞　(1)スポーツ・レクリエーションの普及**								
67	**体力づくり運動推進事業**	スポーツ推進課（平成30年度末では体育課）	【市民ひとりスポーツ】を目標に生涯スポーツを推進し、市民の健康維持・体力の増進を図るための事業を実施します。	・市民水泳大会（参加者140人） 夏季における市民の健康・体力づくりを推進し、合わせて水泳の進行と普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として大会を開催した。 ・体育の日スポーツフェア（参加者2,071人） 体育の日において、市民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲を高揚することを目的として総合体育館や総合グラウンド等の無料開放事業等を実施する。 ・シルバーハイキング（参加者56人） 60歳以上の方を対象に、ハイキングを通して自然に親しみながら市民の健康・体力づくりを図る。 ・市民ロードレース大会（参加者1,319人） ロードレースを通して市民の健康・体力づくりを図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場を提供する。 ・こどもゴルフ教室（参加者延べ44人） 市内在住・在学の小学生（2～6年生）を対象に、こどもたちの体力向上、健全育成を目的とし、ゴルフを体験することにより、ルール、マナーなどを勉強し、今後のゴルフ競技を始めるきっかけとする。 ・ファミリースポーツフェスタ（参加者1,597人） 10のまちいなぎ市民祭の部門の一つとして、誰もが気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツを楽しむ機会を提供する。 ・あおぞらスポーツ（参加者49人） 障害のある方に運動する機会を提供し、また、障害のある方とない方がスポーツを通して交流をすることで、楽しく健康づくりができることを目的とする。 ・稲城市・多摩区ふれあい「あるくマップ」ウォーキング（参加者43人） だれもが身近に気軽に親しめるウォーキング事業を通してスポーツ・レクリエーションの普及を図り、稲城市民と川崎市民との交流を深め、地域の活性化を図ることを目的とする。	・市民水泳大会（8月28日実施　参加者229人） 夏季における市民の健康・体力づくりを推進し、合わせて水泳の振興と普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として大会を開催した。 ・体育の日スポーツフェア（10月10日実施　参加者1,682人） 体育の日において、市民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲を高揚することを目的として総合体育館や総合グラウンド等の無料開放事業等を実施した。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図るため、パラリンピック正式種目であるボッチャ体験会を実施した。 ・シルバーハイキング（春季：5月18日実施　参加41人　八王子城跡周辺　秋季：11月16日　参加45人　玉川上水周辺） 60歳以上の方を対象に、ハイキングを通して自然に親しみながら市民の健康・体力づくりを図った。 ・市民ロードレース大会（1月22日実施　参加者1,331人） 稲城中央公園総合グラウンドにて実施。ロードレースを通して市民の健康・体力づくりを図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場 ・こどもゴルフ教室（前期：5月15日～29日（3日間）　参加者延べ29人　後期：11月20日～12月4日（3日間）参加者延べ27人） 多摩ヒルズゴルフコースにて実施。市内在住・在学の小学生（2～6年生）を対象に、こどもたちの体力向上、健全育成を目的とし、ゴルフを体験することにより、ルール、マナーなどを勉強し、今後のゴルフ競技を始めるきっかけとなるよう実施した。 ・ファミリースポーツフェスタ（10月20日・23日実施　参加者1,104人） 10のまちいなぎ市民祭の部門の一つとして、誰もが気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツを楽しむ機会を提供した。種目ごとの参加者は、各種スポーツ体験イベント（グラウンドゴルフ、ボッチャ）は525人、サッカーイベントは410人、チアダンス披露会は105人、親子サッカー教室は60人であった。 ・稲城市・多摩区ふれあい「あるくマップ」ウォーキング（10月29日実施　参加者45人） だれもが身近に気軽に親しめるウォーキング事業を通してスポーツ・レクリエーションの普及を図り、稲城市民と川崎市民との交流を深め、地域の活性化を図ることを目的とする。 ・あおぞらスポーツ（11月8日実施　参加者46人） 障害のある方に運動する機会を提供し、また、障害のある方とない方がスポーツを通して交流をすることで、楽しく健康づくりができることを目的として、稲城中央公園総合体育館にて実施した。	・市民水泳大会（8月27日実施　参加者延べ244人） 夏季における市民の健康・体力づくりを推進し、合わせて水泳の振興と普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として大丸第二公園プールにて大会を開催した。 ・体育の日スポーツフェア（10月9日実施　参加者1,833人） 体育の日において、市民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲を高揚することを目的として総合体育館や総合グラウンド等の無料開放事業等を実施した。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図るため、パラリンピック正式種目であるボッチャ体験会を実施した。 ・シルバーハイキング（春季：5月17日実施　参加34人　玉川上水周辺　秋季：11月15日　参加45人　多摩湖周辺） 60歳以上の方を対象に、ハイキングを通して自然に親しみながら市民の健康・体力づくりを図った。 ・市民ロードレース大会（1月28日実施　参加者1,221人） 稲城中央公園総合グラウンドにて実施。ロードレースを通して市民の健康・体力づくりを図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場 ・こどもゴルフ教室（Aコース：5月14日～28日（3日間）　参加者延べ29人　Bコース：6月4日～18日（3日間）参加者延べ29人） 多摩ヒルズゴルフコースにて実施。市内在住・在学の小学生（2～6年生）を対象に、こどもたちの体力向上、健全育成を目的とし、ゴルフを体験することにより、ルール、マナーなどを勉強し、今後のゴルフ競技を始めるきっかけとなるよう実施した。 ・ファミリースポーツフェスタ（10月20日・22日実施　参加者延べ385人） 10のまちいなぎ市民祭の部門の一つとして、誰もが気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツを楽しむ機会を提供することを目的とした。 雨天のため、21日はスポーツ吹き矢体験会を実施し182人、22日はサッカーイベント抽選会を実施し203人の参加があった。 ・稲城市・多摩区ふれあい「あるくマップ」ウォーキング（11月5日実施　参加者22人） だれもが身近に気軽に親しめるウォーキング事業を通してスポーツ・レクリエーションの普及を図り、稲城市民と川崎市民との交流を深め、地域の活性化を図ることを目的として実施した。 ・あおぞらスポーツ（11月9日実施　参加者67人） 障害のある方に運動する機会を提供し、また、障害のある方とない方がスポーツを通して交流をすることで、楽しく健康づくりができることを目的として、稲城中央公園総合体育館にて実施した。	・市民水泳大会（8月26日実施　参加者延べ244人） 夏季における市民の健康・体力づくりを推進し、合わせて水泳の振興と普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として大丸第二公園プールにて大会を開催した。 ・体育の日スポーツフェア（10月8日実施　参加者1,579人） 体育の日において、市民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲を高揚することを目的として総合体育館や総合グラウンド等の無料開放事業等を実施した。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図るため、パラリンピック正式種目であるボッチャ体験会を実施した。 ・シルバーハイキング（春季：5月16日実施　参加者40人　多摩湖周辺　秋季：11月14日　参加者42人　皇居周辺） 60歳以上の方を対象に、ハイキングを通して自然に親しみながら市民の健康・体力づくりを図った。 ・市民ロードレース大会（12月2日実施　参加者1,105人） 稲城中央公園総合グラウンドにて実施。ロードレースを通して市民 ・こどもゴルフ教室（前期：5月13日～27日（3日間）　参加者延べ27人 後期：6月3日～17日（3日間）参加者延べ26人） 多摩ヒルズゴルフコースにて実施。市内在住・在学の小学生（2～6年生）を対象に、こどもたちの体力向上、健全育成を目的とし、ゴルフを体験することにより、ルール、マナーなどを勉強し、今後のゴルフ競技を始めるきっかけとなるよう実施した。 ・ファミリースポーツフェスタ（10月26日・27日実施　参加者延べ1,109人） 10のまちいなぎ市民祭の部門の一つとして、誰もが気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツを楽しむ機会を提供することを目的とした。 種目ごとの参加者は、各種スポーツ体験ブースは409人、サッカーイベントは420人、チアダンス披露会は160人、介護予防体操稲城繁盛節は70人、東京五輪音頭2020は280人であった。 ・稲城市・多摩区ふれあい「あるくマップ」ウォーキング（12月7日実施　参加者42人） だれもが身近に気軽に親しめるウォーキング事業を通してスポーツ・レクリエーションの普及を図り、稲城市民と川崎市民との交流を深め、地域の活性化を図ることを目的として実施した。 ・あおぞらスポーツ（4月20日実施　参加者65人） 障害のある方に運動する機会を提供し、また、障害のある方とない方がスポーツを通して交流をすることで、楽しく健康づくりができることを目的として、稲城中央公園総合体育館にて実施した。	・市民水泳大会（8月25日実施　参加者延べ282人） 夏季における市民の健康・体力づくりを推進し、合わせて水泳の振興と普及を図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場として大丸第二公園プールにて大会を開催した。 ・体育の日スポーツフェア（10月14日実施　参加者1,420人） 体育の日において、市民の間に広くスポーツについての関心と理解を深め、かつ、積極的にスポーツをする意欲を高揚することを目的として総合体育館や総合グラウンド等の無料開放事業等を実施した。 また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成を図るため、パラリンピック正式種目であるボッチャ体験会を実施した。 ・シルバーハイキング（春季：5月22日実施　参加者24人　皇居周辺　秋季：11月13日　参加者31人　調布市野川周辺） 60歳以上の方を対象に、ハイキングを通して自然に親しみながら市民の健康・体力づくりを図った。 ・市民ロードレース大会（12月1日実施　参加者947人） 稲城中央公園総合グラウンドにて実施。ロードレースを通して市民の健康・体力づくりを図るとともに、日頃の練習の成果を発揮する場 ・こどもゴルフ教室（前期：5月12日～26日（3日間）　参加者延べ23人 後期：6月2日～16日（3日間）参加者延べ25人） 多摩ヒルズゴルフコースにて実施。市内在住・在学の小学生（2～6年生）を対象に、こどもたちの体力向上、健全育成を目的とし、ゴルフを体験することにより、ルール、マナーなどを勉強し、今後のゴルフ競技を始めるきっかけとなるよう実施した。 ・ファミリースポーツフェスタ（10月26日・27日実施　参加者延べ1,709人） 10のまちいなぎ市民祭の部門の一つとして、誰もが気軽に参加できるイベントを実施し、スポーツを楽しむ機会を提供することを目的とした。 種目ごとの参加者は、各種スポーツ体験ブースは519人、サッカーイベントは390人、チアダンス披露会は170人、介護予防体操稲城繁盛節は70人、東京五輪音頭2020は300人であった。 ・稲城市・多摩区ふれあい「あるくマップ」ウォーキング（12月7日実施　参加者8人） だれもが身近に気軽に親しめるウォーキング事業を通してスポーツ・レクリエーションの普及を図り、稲城市民と川崎市民との交流を深め、地域の活性化を図ることを目的として実施した。 ・あおぞらスポーツ（4月20日実施　参加者72人） 障害のある方に運動する機会を提供し、また、障害のある方とない方がスポーツを通して交流をすることで、楽しく健康づくりができることを目的として、稲城中央公園総合体育館にて実施した。	各種スポーツ事業を通じ、児童・生徒、高齢者のそれぞれを対象とした事業を実施し、幅広い世代に対してスポーツ・レクリエーションの普及を図ることができた。
67	市民体育大会運営事業	スポーツ推進課（平成30年度末では体育課）	広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体力づくりや市民交流を図るため、市民体育大会を開催します。	21競技1レクリエーションの種目で合計6,118人の市民が参加をした市民体育大会を開催した。	20競技1レクリエーションの種目で、合計5,586人の市民が参加した市民体育大会を開催した。	22競技1レクリエーションの種目で、合計5,716人の市民が参加した市民体育大会を開催した。	22競技1レクリエーションの種目で、合計5,959人の市民が参加した市民体育大会を開催した。	22競技1レクリエーションの種目で、合計5,578人の市民が参加した市民体育大会を開催した。	開催競技数が増加し、多くの市民の方が参加しており、市民体育大会を通して、だれもが身近で気軽にスポーツを「する」「みる」「支える」仕組みづくりを整え、スポーツを通じた地域コミュニティ活性化につながった。
67	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜11　スポーツ・レクリエーション活動の振興＞　(2)スポーツ・レクリエーション環境の整備**								
67	**体育施設の運営管理**	スポーツ推進課（平成30年度末では体育課）	市内の体育施設やスポーツ広場などを社会体育施設として活用し、多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図ります。	指定管理者により、市内の各体育施設やスポーツ広場などの体育施設を有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場　41,687人 ・ふれんど平尾（体育施設）34,307人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場　20,942人 フットサル場　4,733人 ・稲城中央公園総合体育館　195,255人 ・稲城中央公園総合グラウンド　15,348人 ・稲城中央公園野球場　8,854人 ・若葉台公園多目的広場　35,283人 ・多摩川緑地公園　35,357人 ・テニスコート　125,920人	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場　37,749人 ・ふれんど平尾（体育施設）34,968人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場　58,386人 フットサル場　11,647人 多目的室1　828人 多目的室2　1,581人 芝生広場　728人 ・稲城中央公園総合体育館　193,679人 ・稲城中央公園総合グラウンド　17,982人 ・稲城中央公園野球場　9,470人 ・若葉台公園多目的広場　9,052人 ・多摩川緑地公園　35,618人 ・テニスコート　127,146人	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場　42,874人 ・ふれんど平尾（体育施設）28,184人 ・稲城長峰スポーツ広場　73,113人 ・稲城中央公園総合体育館　180,784人 ・稲城中央公園総合グラウンド　19,949人 ・稲城中央公園野球場　9,427人 ・若葉台公園多目的広場　17,837人 ・多摩川緑地公園 20,328人 ・テニスコート　130,339人	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場　41,032人 ・ふれんど平尾（体育施設）27,883人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場　59,518人 フットサル場　17,933人 多目的室1　1,231人 多目的室2　2,576人 芝生広場　592人 ・稲城中央公園総合体育館　176,881人 ・稲城中央公園総合グラウンド　20,153人 ・稲城中央公園野球場　8,158人 ・若葉台公園多目的広場　6,491人 ・多摩川緑地公園　23,844人 ・テニスコート　24,490人	市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間で下記の利用があった。 ・南多摩スポーツ広場　44,539人 ・ふれんど平尾（体育施設）25,546人 ・稲城長峰スポーツ広場 サッカー場　57,856人 フットサル場　17,933人 多目的室1　959人 多目的室2　2,045人 芝生広場　592人 ・稲城中央公園総合体育館　212,808人 ・稲城中央公園総合グラウンド　23,650人 ・稲城中央公園野球場　10,368人 ・若葉台公園多目的広場　8,122人 ・多摩川緑地公園　15,089人 ・テニスコート　115,260人	必要に応じた維持管理を実施し、市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる場の確保や環境づくりを図り、各施設を有効に活用し、多くの市民の方に利用していただいた。
67	**学校体育施設開放**	教育総務課（平成30年度末では体育課）	各地域にある学校体育施設を開放し、市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・場づくりを図ります。	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放した。 ・個人開放　134日　2,203人 ・団体開放　242,916人	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放した。 ・個人開放　136日　2,381人 ・団体開放　253,932人	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放した。 ・個人開放　137日　2,778人 ・団体開放　242,224人	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放した。 ・個人開放　130日　2,618人 ・団体開放　215,088人	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放した。 ・個人開放　130日　2,610人 ・団体開放　201,517人	市内各学校にある学校体育施設を、個人開放及び団体開放し、市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる場の確保や環境づくりを図った。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(平成27年度)	具体的な取組結果(平成28年度)	具体的な取組結果(平成29年度)	具体的な取組結果(平成30年度)	具体的な取組結果(平成31年度)	実施状況・成果(平成27～31年度)
68	**3　市民の生涯にわたる学習活動の振興　＜11　スポーツ・レクリエーション活動の振興＞　(3)スポーツ・レクリエーション活動の支援**								
68	**スポーツ団体との連携・支援**	スポーツ推進課（平成30年度まではは体育課）	スポーツ・レクリエーション活動の推進に向けて、地域のスポーツ団体との連携・支援の強化を図ります。	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を行った。	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、下記の各種中央大会への派遣事業を実施した。 ・第69回都民体育大会春季大会 ・第70回都民体育大会夏季大会 ・第49回東京都市町村総合体育大会 ・平成28年度都民生涯スポーツ大会 ・第28回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、下記の各種中央大会への派遣事業を実施した。 ・第70回都民体育大会春季大会 ・第71回都民体育大会夏季大会 ・第50回東京都市町村総合体育大会 ・平成29年度都民生涯スポーツ大会 ・第29回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、下記の各種中央大会への派遣事業を実施した。 ・第71回都民体育大会春季大会 ・第72回都民体育大会夏季大会 ・第51回東京都市町村総合体育大会 ・平成30年度都民生涯スポーツ大会 ・第30回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、下記の各種中央大会への派遣事業を実施した。 ・第72回都民体育大会春季大会 ・第73回都民体育大会夏季大会 ・第52回東京都市町村総合体育大会 ・平成31年度都民生涯スポーツ大会 ・第31回都民スポレクふれあい大会	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施した。稲城市体育協会を始めとした市民の方が主体となり多くの大会に参加し、スポーツ・レクリエーション活動の推進につながった。
68	**スポーツ推進委員協議会**	スポーツ推進課（平成30年度まではは体育課）	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対する実技指導、その他スポーツの推進のための助言指導を行います。	毎月1回スポーツ推進委員協議会定例会を実施し及び各種部会を随時実施した。 また、下記の研修会も実施した。 ・スポーツ推進委員協議会主催研修会 講習「スポーツ推進委員リーダー養成講習会」 「総合型地域スポーツクラブ」 ・東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会 テーマ「健康・長寿に関わるスポーツ推進委員の活動」	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催及び下記の研修会を実施した。 ・2／25（土）「稲城市スポーツ推進委員協議会研修会」 ラグビーの知見・経験を深めることを目的として、クボタスピアーズのコーチ・選手を講師として招いての研修会。 ・3／4（土）「オリンピズムとは何か~2020年東京大会に向けた基礎基本~」 首都大学東京特任教授である舛本　直文　氏を招いての講演会。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催及び下記の研修会を実施した。 ・12月3日　ボッチャ審判講習会 講師：東京ボッチャ協会　高山真理子氏　外2人	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催及び下記の研修会を実施した。 ・10月13日　スポーツ推進委員協議会研修会 テーマ「運動で身体と頭の若返り」 講師：稲城市立病院　河原崎　宏雄氏 ・3月17日　スポーツ推進委員研修会 テーマ「健康ウォーキング」 講師：健康運動指導士　石井　純子氏	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催及び下記の研修会を実施した。 ・2月15日　スポーツ推進委員協議会研修会 テーマ「スポーツ事故と指導者の役割」 講師：実践女子大学短期大学部名誉教授 日本ハラスメント&リスクマネジメント綜合研究所 代表　日野　一男氏 ・3月21日　スポーツ推進委員協議会研修会 テーマ「オリンピック自転車ロードレースの楽しみ方」 講師：NPO法人　ワラブ　山口　敦人氏	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催及び下記の研修会を実施した。研修会では、スポーツ推進委員自身の技術・知識の向上だけでなく、一般市民の方を対象とすることで広く市民の資質向上の場を設けることができた。
68	**社会体育指導者養成講習会**	スポーツ推進課（平成30年度まではは体育課）	スポーツ振興のための指導員を養成し、スポーツ人口の拡大、サークル活動の拡大を図ります。	質の高いスポーツ・レクリエーション指導者の確保に向けて、スポーツ指導の資質の向上を目的とした講習会を2回実施した。 ・「スポーツ前後のストレッチ」 参加者14人 「スポーツ中の傷病に対する応急処置、テーピング」 参加者8人	質の高いスポーツ・レクリエーション指導者の確保に向けて、スポーツ指導の資質の向上を目的とした講習会を2回実施した。 ・「スポーツと貧血の関係について」 参加者9人 ・「地域のスポーツ普及と指導者の役割」 参加者16人	質の高いスポーツ・レクリエーション指導者の確保に向けて、スポーツ指導の資質の向上を目的とした講習会を2回実施した。 ・「スポーツと睡眠」 参加者12人 ・「ストレッチ」 参加者14人	－	－	・年2回の研修会を実施し、地域のスポーツ指導者の育成を図った。平成30年度の事業見直しにおいて、スポーツ推進委員協議会研修会と統一することになった。
68	**ヴェルディ支援推進事業**	スポーツ推進課（平成30年度まではは体育課）	東京ヴェルディのホームタウンとして、クラブ支援のためのサンクスマッチの開催や、応援用のリーフレットの作成などをして、市民へのアピールを実施します。	・稲城市サンクスマッチ 東京ヴェルディ対徳島ヴォルティス戦を、稲城市サンクスマッチとして開催し、市民を無料招待した。また市民を対象にピッチツアー、エスコートキッズ・フェアプレーフラッグ旗手を実施した。 ・ホームタウン推進懇談会 市内の様々な団体で活動する方々が集まり、東京ヴェルディの監督・選手・スタッフと交流ができる機会を設けた。 ・東京ヴェルディ支援推進物品作成 横断幕2枚　大のぼり2枚　サンクスマッチチラシ8,000枚　10,000部	・稲城市サンクスマッチ 東京ヴェルディ対ジェフユナイテッド千葉戦を、稲城市サンクスマッチとして開催し、市民を無料招待した。また市民を対象にピッチツアー＆ハイタッチキッズに25組50名、エスコートキッズに11名、フェアプレーフラッグ旗手に6名の市民が参加した。 ・東京ヴェルディ支援推進物品作成 PRチラシ28,000部、ポスター1,200枚 ・ホームタウン推進懇談会 市内の様々な団体で活動する方々が集まり、東京ヴェルディの監督・選手・スタッフと交流できる機会を設けた。 参加人数　78人	・稲城市サンクスマッチ 東京ヴェルディ対愛媛FC戦を、稲城市サンクスマッチとして開催し、市民の無料招待に加え、ピッチ見学ツアー＆ハイタッチキッズに41人、エスコートキッズに22人、稲城市フラッグ旗手6人、フェアプレーフラッグ旗手に6人の市民が参加した。 ・東京ヴェルディ支援推進物品作成 サンクスマッチPRチラシ8,500部、ポスター155枚を作成し市内小中学校及び公共施設に配布した。 ・ホームタウン推進懇談会 市内の様々な団体で活動する方々が集まり、東京ヴェルディの監督・選手・スタッフと交流できる機会を設けた。 参加人数　84人	・稲城市サンクスマッチ 東京ヴェルディ対熊本SC戦を、稲城市サンクスマッチとして開催し、市民の無料招待に加え、ピッチ見学ツアー＆ハイタッチキッズに35人、エスコートキッズに9人、稲城市フラッグ旗手4人、フェアプレーフラッグ旗手に6人の市民が参加した。 ・東京ヴェルディ支援推進物品作成 サンクスマッチPRチラシ8,500部、ポスター150枚リーフレット10,000部を作成し市内小中学校及び公共施設に配布した。 ・ホームタウン推進懇談会 市内の様々な団体で活動する方々が集まり、東京ヴェルディの監督・選手・スタッフと交流できる機会を設けた。 参加人数　88人	・ホームタウンデー（稲城市・日野市・多摩市・立川市・共同開催） 東京ヴェルディのホームゲームの内、FC琉球戦、アビスパ福岡戦、愛媛FC戦の3日をホームタウンデーとして開催し、稲城市民を含めたホームタウンの市民を招待した。（一般優待　1,000円/人、小・中・高・満65歳以上無料招待） 参加人数（3日間合計・稲城市のみ）：一般優待　243人　　無料招待　134人 ・東京ヴェルディ支援推進物品作成 サンクスマッチPRチラシ8,000部、ポスター100枚,リーフレット9,000部を作成し市内小中学校及び公共施設に配布した。 ・ホームタウン推進懇談会 2月に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	稲城市サンクスマッチ、東京ヴェルディ支援推進物品作成、ホームタウン推進懇談会などの応援や市民と東京ヴェルディ選手の交流等により、市民が主体となったスポーツ・レクリエーション活動の推進につながった。